

第四次中国省長訪日代表团

日本滞在記録

平成5年（1993年）11月8日～18日

全国知事会

写真あり

11月8日 奥田八二福岡県知事を表敬（県庁）

写真あり

11月9日 筑紫野とうきゅうショッピングセンターを視察

写真あり

11月10日 平井 龍山口県知事を表敬（県庁）

写真あり

11月10日 マツダ（株）防府工場で乗用車生産の説明を受ける代表団一行

写真あり

11月12日 西尾邑次鳥取県知事を表敬（県庁）

写真あり

11月12日 鳥取県立園芸試験場を視察

写真あり

11月13日 佐藤栄佐久福島県知事を表敬（知事公館）

写真あり

11月14日 会津若松市鶴ヶ城を視察

写真あり

11月16日 鈴木俊一東京都知事を表敬（都庁）

写真あり

11月16日 鈴木俊一東京都知事を囲んで

写真あり

11月17日 佐藤観樹自治大臣を表敬（自治大臣室）

写真あり

11月17日 原文兵衛参議院議長・赤桐 操同副議長を表敬（議長公邸）

写真あり

11月17日 経済団体連合会での懇談（経団連会館）

写真あり

11月17日 歓迎レセプションで挨拶する鈴木会長（ホテルニューオータニ）

写真あり

11月18日 土井たか子衆議院議長を表敬（議長公邸）

目 次

1	第四次中国省長訪日代表团名簿	1
2	第四次中国省長訪日代表团滞在日程	2
(1)	総括(概略)	2
(2)	日別	3
3	全国知事会会長主催歓迎レセプション概要	16
(1)	次第	16
(2)	全国知事会会長挨拶	17
(3)	中国省長訪日代表团団長挨拶	17
(4)	来賓代表挨拶(佐藤自治大臣)	19
(5)	出席者名簿	20
4	要人との会見要旨	21
(1)	東祥三外務政務次官との会見(11月15日)	21
(2)	佐藤観樹自治大臣との会見(11月17日)	23
(3)	原文兵衛参議院議長との会見(11月17日)	24
(4)	経団連訪問(懇談会)(11月17日)	27
(5)	土井たか子衆議院議長との会見(11月18日)	31
5	訪問都県知事のスピーチ等	33
(1)	奥田八二福岡県知事(11月8日)	33
(2)	平井龍山口県知事(11月10日)	36
(3)	西尾邑次鳥取県知事(11月12日)	38
(4)	佐藤栄佐久福島県知事(11月13日)	40
(5)	鈴木俊一東京都知事(11月16日)	43
6	資料	45
(1)	第四中国省長訪日代表团略歴	45
(2)	第四中国省長訪日代表团関係省・自治区の概要	47
(3)	中国省レベル行政区画地図	49
(4)	中国日本友好協会	50
(5)	都道府県と中国省・自治区・中央直轄市との友好提携状況	51
(6)	全国知事会事務局地方視察の同行者	52

1 第四次中国省長訪日代表团名簿

写真あり	1 団 長 賈 志 傑 (JIA ZHI JIE) 湖北省省長 57 歳	写真あり	6 団 員 楊 多 良 (YANG DUO LIANG) 安徽省副省長 47 歳
写真あり	2 副 団 長 成 克 傑 (CHENG KE JIE) 広西チワン族自治区 主席 60 歳	写真あり	7 秘 書 長 陸 琪 (LU QI) 中日友好協会 秘書長代行 55 歳
写真あり	3 団 員 王 良 溥 (WANG LIANG TUAN) 福建省副省長 56 歳	写真あり	8 随 員 王 秀 雲 (WANG XIU YUN) 中日友好協会理事 都市交流部部長 37 歳
写真あり	4 団 員 劉 沢 民 (LIU ZE MIN) 山西省副省長 49 歳	写真あり	9 随 員 畢 惠 風 (BI HUI FENG) 中国国際友好都市 連合会弁公室主任 52 歳
写真あり	5 団 員 陳 建 國 (CHEN JIAN GUO) 山東省副省長 48 歳	写真あり	10 随 員 鄧 曉 峰 (DENG XIAO FENG) 中日友好協会職員 29 歳

2 第四次中国省長訪日代表团滞在日程

(1) 総括

年月日(曜)	時間	行事内容等	宿泊地・ホテル名
平成5年 11月8日(月)	16:30 17:40 19:30	福岡空港着(NH1108) 奥田八二福岡県知事表敬(福岡県庁) 福岡県知事招宴(ホテル日航福岡)	福岡市 ホテル日航福岡泊
11月9日(火)	09:15 10:40 13:50 15:00	博多織会館視察 筑紫野とうきゅうショッピングセンター視察 (福岡県筑紫野市) トヨタ自動車九州株式会社視察 (福岡県宮田町) バスにて福岡県から山口県へ	山口市 ホテルニュータナカ泊
11月10日(水)	10:00 10:30 13:30 16:20 18:30	平井 龍山口県知事表敬(山口県庁) 山口県行政機構等の説明(山口県) マツダ株式会社防府工場視察(山口県防府市) 瑠璃光寺視察(山口市) 山口県知事招宴(ホテルニュータナカ)	山口市 ホテルニュータナカ泊
11月11日(木)	09:00 12:44 14:19 15:20 17:34	秋芳洞・秋吉台視察 小郡発(ひかり44) 岡山着 岡山発(やくも9) 米子着	鳥取県境港市 境港マリーナホテル泊
11月12日(金)	08:35 11:15 15:05 16:30 18:00	白ネギ栽培農家視察(鳥取県米子市) 鳥取県立園芸試験場視察(鳥取県大栄町) グッドヒル株式会社視察(鳥取市) 西尾邑次鳥取県知事表敬(鳥取県庁) 鳥取県知事招宴(ホテルニューオータニ鳥取)	鳥取市 ホテルニューオータニ鳥取泊
11月13日(土)	09:40 10:50 13:28 15:08 15:50 18:15	鳥取発(ANA296) 東京(羽田)着 東京発(やまびこ125) 福島着 佐藤栄佐久福島県知事表敬(知事公館) 福島県知事招宴(ホテル辰巳屋)	福島市 ホテル辰巳屋泊
11月14日(日)	終日	会津藩校日新館、鶴ヶ城、イトーヨーカドー郡山店視察	福島県郡山市 ホテルハマツ泊
11月15日(月)	08:35 10:20 13:10 15:48 17:12 17:50 18:35	福島県ハイテクプラザ視察(福島県郡山市) アサヒビール株式会社視察(福島県本宮町) バラ栽培農家・胡瓜栽培農家視察 (福島県須賀川市) 郡山発(やまびこ126) 東京着 東祥三外務政務次官表敬(外務省) 妙子田隆全国知事会事務総長夕食会 (ホテルニューオータニ)	東京都 ホテルニューオータニ泊
11月16日(火)	09:55 11:00 11:30 12:10 15:20 17:15	東京都政概要説明(東京都) 鈴木俊一東京都知事表敬(東京都庁) 東京都庁舎視察(東京都) 東京都知事招宴(京王プラザホテル) 臨海副都心視察(江東区外) 徐敦信中国大使主催夕食会(中国大使館)	東京都 ホテルニューオータニ泊
11月17日(水)	10:00 10:25 13:55 14:40 15:45 18:30	佐藤観樹自治大臣表敬(自治省) 買物等自由行動(銀座) 原文兵衛参議院議長表敬(議長公邸) 全国市長会訪問(全国都市会館) 経済団体連合会訪問(経団連会館) 鈴木俊一全国知事会会長主催レセプション (ホテルニューオータニ)	東京都 ホテルニューオータニ泊
11月18日(木)	09:00 11:05 16:00	東京証券取引所視察(日本橋兜町) 土井たか子衆議院議長表敬(議長公邸) 成田空港発(CA926)帰国	

(2) 日 別

第 1 日 11 月 8 日 (月)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
16 : 32	第四次中国省長訪日代表团 福岡空港着 (NH 1108)	○賈志傑中国省長団団長外 9 名来日 〔案内〕 池田公明・全日空福岡支店長代理	
16 : 55～ 17 : 12	中国省長団の出迎え・歓迎 (花束贈呈) (福岡県企画振興部長挨拶) (全国知事会渉外部長挨拶)	〔出迎〕 (福岡県) 権島義幸企画振興部長、陶山健同企画調整 課長外 (駐福岡中国総領事館) 呉治安総領事、張立国 首席領事 (知事会) 柳田躬嗣渉外部長、岩本廣幸同副部 長、中川浩一近畿日本ツーリスト添乗員 〔通訳〕 青木麗子国際交流課員	福岡空港 国際線ターミナル 2 階「I ルーム」
17 : 16	福岡空港出発 (バス)		
17 : 38	福岡県庁着		
17 : 41～ 18 : 02	福岡県知事表敬 (福岡県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇 談) (記念品贈呈)	〔応対〕 ○奥田八二福岡県知事 権島企画振興部長、陶山企画調整課長外同席 (中国総領事館) 呉総領事外 (知事会) 渉外部長外	福岡県庁 8 階「特別応接室」
18 : 11	県庁出発 (バス)		
18 : 21	ホテル日航福岡着		福岡市博多区博多駅前 2-18-25
19 : 28～ 21 : 28	福岡県知事招宴 (福岡県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (乾 杯) (懇 談)	〔出席〕 ○賈志傑中国省長団団長外 9 名 (福岡県) 奥田知事、権島企画振興部長、 中本英昭商工部次長、陶山企画調整課長外 (中国総領事館) 呉総領事、張首席領事 (福岡県議会) 武藤英治副議長 (日中友好福岡県議員連盟) 原口久人会長 (県会議員) (福岡県日本中国友好協会) 吉浦公生理事長 (福岡市議) (知事会) 渉外部長外 〔通訳〕 青木麗子、堀田綾子、林田英子	ホテル日航福岡 5 階「志賀の間」 ホテル日航福岡泊

第2日 11月9日(火)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
09:03	ホテル日航福岡出発(バス)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (福岡県) 樺島企画振興部長、陶山企画調整課長外(含通訳) (知事会) 渉外部長外(含添乗員) (案内・説明) 有馬三郎博多織工業組合理事長	福岡市博多区博多駅南 1-14-12
09:15~ 09:55	博多織会館視察 〔福岡県の伝統的工芸品である博多織の振興状況の視察〕		
09:55	博多織会館出発(バス)		
10:43~ 11:37	筑紫野とうきゅうショッピングセンター視察 〔スーパー等の流通小売業視察のため平成5年5月に開店した同センターを視察 従業員 約240人 売場面積 約21,400㎡〕	(案内・説明) 金子惇(株) 東急ストア取締役・店長、伊東永倫同業務部長	筑紫野市美しが丘南 1-12-1
11:40	ショッピングセンター出発(バス)		
11:56	大丸別荘(二日市温泉)着	〔出席〕	
12:04~ 12:58	昼食(福岡県主催)	(福岡県) 池田幸雄出納長、樺島企画振興部長、中本商工部次長、陶山企画調整課長外 (知事会) 渉外部長外	二日市温泉大丸別荘
13:05	大丸別荘出発(バス)		
13:53	トヨタ自動車九州(株) 宮田工場視察 〔乗用車生産の最大手の最新の組立工場を視察 生産開始 平成4年12月 用地面積 106ヘクタール 従業員 約2,000人 生産能力 年20万台〕	(案内・説明) 武藤十平トヨタ自動車九州(株) 取締役、白藤哲也同総務課長 〔通訳〕 郭有章	福岡県鞍手郡宮田町大字上有木字平山1
15:01	トヨタ自動車九州(株) 出発 山口県へ(バス)	〔見送り〕 中本商工部次長、青木通訳	
17:37	山口市ホテルニュータナカ着	〔出迎〕 (山口県) 水津文人理事兼国際交流室長、来村正志国際交流室次長、清水貴充同室長補佐外	山口市湯田温泉2-6-24
18:06	ホテル出発(県有バス)		
18:09~ 18:18	らく亭視察 〔山口県と山東省の友好提携10周年記念に1992年山東省から贈られたあずまや〕	(案内・説明) 来村国際交流室次長	山口市吉敷北河内 3995-1
18:27	レストラン山水園着		
18:35~ 20:03	夕食(山水園) (全国知事会事務総長挨拶) (中国省長団団長挨拶) (陳建国山東省副省長挨拶) (山口県国際交流室長挨拶)	〔出席〕 (山口県) 水津国際交流室長、来村国際交流室次長外3名 (知事会) 事務総長、渉外部長外	山口市緑町4-60
20:12	ホテルニュータナカ着		ホテルニュータナカ泊

第4日 11月11日(木)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
08:33	ホテルニュータナカ出発 (バス)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (山口県) 来村国際交流室次長、清水同室長補佐外(含通訳) (知事会) 渉外部長外(含添乗員)	
09:01~ 10:21	秋芳洞入口着 秋芳洞・秋吉台視察 〔特別天然記念物の秋芳洞 (東洋最大の鍾乳洞)と 国定公園秋吉台(カルスト 台地)の視察〕	(案内・説明) 上利礼昭山口県秋芳町長 田 飼 同観光商工課長 〔09:13~09:53 秋芳洞参観〕 〔10:02~10:21 秋吉台参観〕	美祢郡秋芳町秋吉
10:21	秋吉台発(バス)		
11:22	山口グランドホテル着		吉敷郡小郡町黄金町 1-1
11:31~ 12:25	昼 食 (徒歩で小郡駅へ)	〔出席〕 (山口県) 来村国際交流室次長、清水同室長補佐外(含通訳) (知事会) 渉外部長外	
12:44	小郡駅発ひかり44号(G)	〔見送り〕 来村国際交流室次長、清水同室長補佐外	
14:19	岡山駅着		
14:26~ 15:08	岡山駅貴賓室にて小憩	〔先導〕 小野亀岡山駅長	
15:20	岡山駅発やくも9号(G)		
17:34	米子駅着	〔先導〕 坂下進駅長 〔出迎〕 吉澤正浩鳥取県総務部次長 山崎清美国際室長、同中江正主事(通訳)	
17:44	米子駅出発(タクシー分乗)		
18:17	境港マリーナホテル着		境港市新屋町3268
19:02~ 20:20	夕食(境港マリーナホテル) (鳥取県総務部次長挨拶) (中国省長団団長挨拶)	○賈志傑中国省長団団長外9名 (鳥取県) 吉澤総務部次長、山崎国際室長外 (知事会) 渉外部長外	境港マリーナホテル 1階「浜見」 境港マリーナホテル泊

第5日 11月12日(金)

時間	行事・利用便名等	内容(出席者)等	場所・ホテル等
07:46	境港マリーナホテル発 (バス)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (鳥取県)吉澤総務部次長、山崎国際室長、 中江主事(通訳) (知事会)渉外部長外(含添乗員)	
	境港視察 〔平成4年水場量日本一の境港の視察(車中から)〕	(説明)山崎鳥取県国際室長	
08:20	境港マリーナホテル帰着		
08:22	同上発		
08:35~	白ネギ栽培農家藤原統一氏訪問	(説明)伊藤美都夫鳥取県米子地方農林振興局長	米子市彦名町594
09:46	〔白ネギ栽培状況、農家の実状(経営・耕作)等視察〕		
09:50	藤原家発(バス)		
11:15~	鳥取県立園芸試験場視察	(案内・説明)内田正人鳥取県園芸試験場長 井上耕介同果樹研究室長 斎藤哲同花き研究室長	東伯郡大栄町由良宿
12:05	〔鳥取県特産二十世紀梨ハウス栽培、シクラメンの底面給水による生産等の視察〕		
12:05	園芸試験場出発東伯町へ (バス)		
12:15~	昼食(ステーキハウス東伯)	〔出席〕 (鳥取県)吉澤総務部次長、山崎国際室長外 (知事会)渉外部長外	東伯郡東伯町会東806
13:23	ステーキハウス東伯発 (バス)		
14:27	鳥取砂丘視察		
14:44	砂丘出発(バス)		
15:06	グッドヒル(株)視察 〔中国国内に合併企業3社を有する紳士服製造販売会社視察 創業1961年 従業員本店1,070人〕	(案内・説明)遠藤一久グッドヒル(株)総務部長	鳥取市吉成2-14-21
16:11	グッドヒル出発(バス)		
16:24	鳥取県庁着		
16:28~	鳥取県知事表敬 (鳥取県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談) (記念品贈呈)	〔応対〕 西尾邑次鳥取県知事 片山善博鳥取県総務部長外同席 (知事会)砂子田隆事務総長、渉外部長外 通訳:中江主事	鳥取県庁 3階「第4応接室」
17:07	県庁出発(バス)		
17:18	ホテルニューオータニ鳥取着		鳥取市今町2-153
18:01~	鳥取県知事招宴 (鳥取県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (鳥取県議会議長乾杯) (懇談) (柳谷副会長閉会の乾杯)	〔出席〕 ○賈志傑中国省長団団長外9名 (鳥取県)西尾知事、片山総務部長、柴原壽一 農林水産部長、上村判明商工労働部次長、山崎国際室長外 (鳥取県議会)長谷川和夫議長 (鳥取県日中友好協会)柳谷中副会長 (県議会副議長) 広田喜代治副会長 (県会議員)	ホテルニューオータニ鳥取 2階「鶴の間」
20:00		(知事会)事務総長、渉外部長外 通訳:中江主事	ホテルニューオータニ鳥取泊

第6日 11月13日(土)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
08:50	ホテルニューオータニ鳥取発 (タクシー分乗)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (鳥取県) 吉澤総務部次長、山崎国際室長外 (含通訳) (知事会) 事務総長、渉外部長外(含添乗員)	
09:08	鳥取空港着		
09:13~ 09:37	鳥取空港貴賓室にて小憩	青木輝夫全日空輸(株)鳥取地区総代理店副所長案内 〔見送り〕 (鳥取県) 片山総務部長、吉澤同次長、山崎国際室長外 〔出迎え〕	
09:40	鳥取空港発(ANA296)	近畿日本ツーリスト(株)中島晴健虎ノ門海外旅行支店次長外(荷物等手続)	
10:50	東京羽田空港着		
11:14	羽田空港発東京駅へ(バス)		
11:50~ 13:12 13:28	昼食(東京ステーションホテル内レストラン「ばら」) 東京駅発 新幹線やまびこ125号	〔荷物ホテルニューオータニへ〕 〔先導〕坂巻栄治東京駅内勤助役 〔同行〕 (知事会) 渉外部長、同富田順子主事 〔先導〕古川福島駅総務助役 〔出迎え〕 (福島県) 小林伸三国際課長、越田敏和企画調整課主任主査、貝沼幹夫国際課主任主査、趙鶴増国際交流員(通訳)	JR 東京駅構内 東京ステーションホテル 2階
15:08	福島駅着		
15:15 15:29	福島駅発(バス) 知事公館着		
15:48~ 16:15	福島県知事表敬 (福島県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (記念品贈呈)	〔応対〕 佐藤栄佐久福島県知事 (福島県) 渡辺康夫企画調整部長 荒川光弘同次長、小林国際課長 (知事会) 渉外部長外 通訳: 趙国際交流員 (記念撮影)	知事公館
16:18~ 17:00 17:05 17:17	福島県勢概要説明 知事公館発(バス) ホテル辰巳屋着	荒川企画調整部次長 〔出席〕	福島県栄町5-1 ホテル辰巳屋
18:14~ 20:05	福島県知事招宴 (福島県知事挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談)	○賈志傑中国省長団団長外9名 (福島県) 福島県知事、中川治男副知事、新妻威男教育長、渡辺企画調整部長、荒川企画調整部次長、国井輝夫企画調整課主幹、渡邊貞夫生活福祉部長、小林国際課長、穴沢正行国際課主幹、川手晃商工労働部長、柏木祐郎商工課長、芳賀茂身農政部長、菅野昭農政部次長外同席 (福島県議会) 菅野喬之議長 (福島市) 箭内洪一郎助役 (知事会) 事務総長、渉外部長外 通訳: 趙国際交流員、岩間真弓 (福島県日中友好協会)	「珊瑚の間」 ホテル辰巳屋泊

第7日 11月14日(日)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
08:53	ホテル辰巳屋出発(バス)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (福島県) 小林国際課長外(含通訳) (知事会) 渉外部長外(含添乗員)	
10:18~ 11:28	会津藩校日新館視察 〔江戸時代儒教の精神を基 本に各学城で会津藩の子 弟教育をした日本三大藩 校の一つを復元したもの の視察〕	(案内・説明) 高木厚保・会津藩校日新館代表 取締役社長	河沼君阿東町南高野高 塚山 1680-8
11:30 11:49 12:13~ 12:54 13:02	日新館出発(バス) 御薬園着 昼 食(御薬園) 御薬園発(バス)	山内日出夫会津若松市長歓迎挨拶	
13:10~ 13:55	鶴ヶ城視察 〔1384年に築城され、戊辰 戦争で焼失し、1965年に 復元された城(天守閣内 部は郷土博物館)の視察〕	(案内・説明) 中岡進(財)会津若松市観光公社 職員	会津若松市追手町
14:08 15:23~ 16:36	鶴ヶ城出発郡山へ(バス) イトーヨーカ堂郡山店にて買 物等		郡山市西ノ内 2-11-40
16:36	イトーヨーカ堂郡山店出発 ホテルへ(バス)		
16:50	ホテルハマツ着	〔出席〕	郡山市虎丸町 3-18 ホテルハマツ
17:35~ 19:45	夕食懇談会(福島県主催)	○賈志傑中国省長団団長外9名 (福島県) 渡邊生活福祉部長、小林国際課長、 穴沢同主幹 (福島県日中友好協会) 田畑金光会長、 伴場忠彦理事長、大内照雄事務局長 (福島県内各市日中友好協会) 辺見正治福島市 同会長、大河内鷹二本松市同会長(二本松市 長)、丹治一郎郡山市同会長、石井芳司同副 会長、土田宏禅同事務局長、水野正男須賀川 市同理事長、高木厚保会津若松市同会長、五 十嵐善之丞同副会長、佐久間昭いわき市同副 会長 (経済団体等) 大高善兵衛郡山商工会議所副会 頭、菱沼正美同常務理事、船尾允也福島県中 小企業団体中央会副会長、扇田侃同常務理 事、角田憲治福島県農協中央会参事、清水敏 正同農政広報部長、藤村俊郎福島大学経済学 部教授 (市) 山内日出夫会津若松市長、星光政郡山市 助役、山口忠弘いわき市助役 (知事会) 渉外部長外 通訳：趙国際交流員、岩間(県日中友協)	8階「木星金星の間」
			ホテルハマツ泊

第 8 日 11 月 15 日 (月)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
08 : 36	ホテルハマツ出発 (バス)	○賈志傑中国省長団団長外 9 名 〔同行〕 (福島県) 小林国際課長、貝沼同主任主査、 趙国際交流員 (知事会) 渉外部長外 (含添乗員) (案内・説明) 酒井高男・福島県ハイテクプラザ所長 芳賀敏行同副所長 酒井勝雄同企画情報部長	郡山市片平町字山神館 7-2
08 : 57~ 10 : 00	福島県ハイテクプラザ視察 〔新技術分野へ対応し得る 研究体制の整備とともに 技術相談・指導もできる 中核的研究機関として 1992 年に福島県が設立し た施設の視察〕		
10 : 05	ハイテクプラザ出発 (バス)		
10 : 18~ 11 : 37	アサヒビール (株) 福島工場視察 〔日本最大級のビール生産 工場の視察 1972 年 サイダー工場と して発足 1979 年 ビール生産開始 従業員 320 人 敷地面積 21 万平方メートル 年 産 40 万 5,000kl (大びん 6 億 4,000 万本)〕	(案内・説明) 宮下隆一アサヒビール (株) 福島工場長 高岸一博同総務部長	安達郡本宮町大字荒井 字上前畑 1
11 : 40~ 12 : 36	昼食 (アサヒビール園福島)		安達郡本宮町大字荒井 字上前畑 1
12 : 41	アサヒビール園出発須賀川市へ (バス)		
13 : 10~ 13 : 40	バラ栽培農家 根本清氏訪問 〔バラの水耕栽培 (ロック ウール養液) 状況等の視 察〕	(説明) 渡辺金光福島県岩瀬農業改良普及所長	須賀川市大桑原字東原 103
13 : 51~ 14 : 22	胡瓜栽培農家星野光明氏訪問 〔コンピューターによる温 度・湿度の管理、防除も 自走式機械で省力化して いるハウス栽培の視察〕	(説明) 伊藤俊彦・JA すかがわ指導販売部販 売課長	須賀川市松塚 78-1
14 : 22	星野家出発 (バス)		
15 : 00	郡山駅着	松浦義幸郡山駅長の案内で貴賓室で休憩 (15 : 35 まで)	
15 : 48	郡山駅発 (やまびこ 126 号)	〔見送り〕 小林国際課長、貝沼同主任主査、 趙国際交流員	
17 : 12	東京駅着	〔案内〕坂巻栄治東京駅助役 〔出迎え〕 (中国大使館) 王月琴参事官、井頓泉三等書記官 (知事会) 岩本渉外部副部長、近畿日本ツーリ スト (株) 中島虎の門海外旅行支店次長外	
17 : 25 17 : 35	東京駅前出発 (バス) 外務省着		

第9日 11月16日(火)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
09:25	ホテルニューオータニ出発 (バス)	○賈志傑中国省長团团長外9名 〔同行〕 (知事会) 渉外部長外 〔出迎え〕	
09:51	東京都庁着	(東京都) 大江尚樹東京都企画審議室広域連絡 担当部長、同大野芳雄広域連絡担当課長、 嶋津隆文国際部外事課長外(通訳)	東京都庁第1庁舎 2階「正面玄関」
09:55~ 10:54	東京都政概要説明 〔東京都の行政の概要説明 及び今後の課題・問題点 説明〕	(説明) 熊崎俊孝情報連絡室長 (東京都) 大江広域連絡担当部長、大野広域連 絡担当課長外 (知事会) 渉外部長外 通訳: 神崎多實子	東京都庁第1庁舎 33階「特別会議室 S5」
11:01~ 11:25	東京都知事表敬 (東京都知事挨拶) (中国省長团团長挨拶) (懇談) (記念品〔東京都のメダル・ 写真集〕贈呈)	〔応対〕 鈴木俊一東京都知事 中村實宏外務長、嶋津外事課長 大江広域連絡担当部長、大野広域連絡担当課 長外同席 (知事会) 事務総長、渉外部長外 通訳: 神崎多實子、汪以文	東京都庁第1庁舎 7階 「知事特別応接室」
11:27~ 11:42	東京都庁舎視察 〔展望台〕	(案内) 番所宏育庁舎管理部長	45階展望台
11:48~ 11:55	〔議会棟、本会議場〕	(案内) 帯刀宏議会局国際課長	議会棟、本会議場
12:02	東京都庁発(徒歩)		
12:04	京王プラザホテル着		
12:12~ 13:33	東京都知事招宴 (京王プラザホテル)	〔出席〕 ○賈志傑中国省長团团長外9名 (東京都) 鈴木知事、中村外務長、嶋津外事課 長、大江広域連絡担当部長、大野広域連絡担 当課長外 (中国大使館) 王月琴参事官、井頓泉三等書記官 (知事会) 事務総長、渉外部長 通訳: 神崎多實子、汪以文	京王プラザホテル 4階「錦の間」
13:44	京王プラザホテル発(バス)	〔同行〕 (東京都) 讓原秀雄臨海副都心開発推進室調整 担当係長、大野広域連絡担当課長、赤堀佐代 子同次席 (知事会) 渉外部長 通訳: 神崎多實子、汪以文	
15:20~ 16:37	臨海副都心(テレポータウン)視察 〔東京の都市構造を多心型 へ転換させ、国際化・情 報化に対応するため臨海 部に建設する未来都市の 視察 地区面積448ヘクタール 就業人口10万6,000人 居住人口6万3,000人 2010年頃までに完成をめざす。〕	(説明) 尾田俊雄東京臨海副都心建設(株)有明工 事事務所長 15:20~15:36 共同溝視察 15:49~16:37 船の科学館視察 (展望室より臨海副都心を展望)	東京都江東区外
16:37 17:15~ 19:40	臨海副都心発(バス) 中国大使館訪問 (大使主催夕食会) 〔ホテルへの帰路は地下鉄〕 〔視察のため地下鉄乗車〕 (六本木・霞ヶ関・赤坂見附間)	○賈志傑中国省長团团長外9名 (大使館) 徐敦信駐日大使外	港区元麻布3-4-33
20:32	ホテルニューオータニ着		ホテルニューオータニ泊

第10日 11月17日(水)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
09:36	ホテルニューオータニ出発 自治省へ(バス)	○賈志傑中国省長団団長外9名 〔同行〕 (知事会) 渉外部長外(含通訳)	
09:56	人事院ビル着		
10:00～ 10:21	自治大臣表敬 (自治大臣挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談) (記念品贈呈)	〔応対〕 佐藤観樹自治大臣 岡本全勝秘書官 (知事会) 事務総長、渉外部長外 (東京都) 久保靖夫情報連絡室出版課(撮影) 通訳: 浅井千恵	自治省(人事院ビル) 2階「自治大臣室」
10:25	人事院ビル出発銀座へ(バス)		
10:33	すきや橋で下車 銀座三越店、西銀座デパート 等で買物 (銀座・日比谷公園散策…昼食会場へ(徒歩))		
12:17～ 13:31	昼食(松本楼)	〔出席〕 (知事会) 事務総長、渉外部長外 (東京都) 久保靖夫氏	日比谷松本楼 3階「高砂」
13:40	日比谷公園出発(バス)		
13:50	参議院議長公邸着		
13:53～ 14:23	参議院議長表敬 (参議院議長挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談) (記念品〔国会の紹介、衆議院のメダル〕贈呈)	〔応対〕 原文兵衛参議院議長 赤桐操参議院副議長 戸張正雄参議院事務総長 (大使館) 王毅公使参事官外 (知事会) 事務総長、渉外部長外 (東京都) 久保靖夫氏(撮影) 浅井通訳	千代田区永田町2-18-2
14:26 14:36	議長公邸出発(バス) 全国都市会館着		
14:38～ 15:06	全国市長会訪問 (事務総長挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談) (記念品贈呈)	〔応対〕 小林悦夫全国市長会事務総長 山崎栄一同事務局次長 三橋信之同調査広報部長外 (知事会) 渉外部長 浅井通訳	全国市長会 (全国都市会館) 4階「正副会長室」
15:15	都道府県会館前(駐車場所) 出発(バス)		
15:40	経団連会館着		
15:43～ 16:50	経済団体連合会訪問 (経団連副会長挨拶) (中国省長団団長挨拶・中国の経済状況について説明) (懇談・意見交換) (記念品贈呈)	〔応対〕 三田勝茂経団連副会長・中国委員会委員長 (日立製作所会長) 糠沢和夫経団連常務理事 藤原勝博同アジア部長外 (懇談) 飛山一男いすゞ自動車会長、松本和男 三和総合研究所会長、青山行雄読売テレビ放送会長等 財界60名余出席 (知事会) 事務総長、渉外部長外同席 浅井通訳	経団連会館 9階「906号室」
16:53 17:13	経団連会館出発(バス) ホテルニューオータニ着		

第11日 11月18日(木)

時 間	行事・利用便名等	内 容 (出 席 者) 等	場所・ホテル等
08:36	ホテルニューオータニ出発 (バス)	○賈志傑中国省長団団長外8名 (成克傑副団長熊本県と別途) 〔同行〕 (知事会) 渉外部長外(含通訳)	
08:57～ 10:15	東京証券取引所視察	(案内・説明) 矢沢和雄東京証券取引所総務部 広報室長 赤峰信同広報室課長 沖宗浩と同課長代理	中央区日本橋兜町2-1
10:15	証券取引所出発(バス)		
10:33～ 10:42	皇居前広場でスナップ写真		
10:54	衆議院議長公邸着		千代田区永田町2-18-1
11:04～ 11:26	衆議院議長表敬 (衆議院議長挨拶) (中国省長団団長挨拶) (懇談) (記念品贈呈)	〔応対〕 土井たか子衆議院議長 村田光平渉外部長外同席 (大使館) 王毅公使参事官外 (知事会) 事務総長、渉外部長外 浅井通訳	
11:29	議長公邸出発(バス)		
12:48	成田空港着		
13:08～ 14:32	昼食・歓送(コルベージュ) (事務総長挨拶) (中国省長団団長挨拶)	〔出席〕 ○賈志傑中国省長団団長外9名(副団長合流) (知事会) 事務総長、渉外部長外(含通訳) (出国手続等近畿日本ツーリスト(株)虎ノ門海外 旅行支店)	成田空港第2旅客ター ミナルビル 4階「コルベージュ」
14:37	税関に入る	(案内) 李桂忠・中国国際航空公司成田支店長	
16:00	成田空港発(CA926)帰国		

3 全国知事会会長主催第四次中国省長
訪日代表団歓迎レセプション概要

(1) 次 第

〔平成5年11月17日（水）18：30～〕
ホテルニューオータニ 楓の間

（司会）
進行役 渉外部長

- 1 開 会
- 2 全国知事会会長歓迎挨拶
- 3 中国省長代表団団長挨拶
- 4 来賓代表挨拶（佐藤自治大臣）
- 5 乾 杯
- 6 懇 談（贈物交換）
- 7 閉 会

(2) 鈴木俊一全国知事会会長歓迎挨拶

尊敬する賈志傑団長、並びに第四次「中国省長訪日代表团」の皆様、ようこそ、おいで下さいました。全国知事会を代表いたしまして、皆様を、大いに歓迎申し上げます。また、佐藤自治大臣におかれましては、ご多忙のところを、ご出席賜り、誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

全国知事会は、中国日本友好協会のお招きにより、1974年から、これまでに4回、貴国へ代表团を派遣いたしました。また、「中国省長代表团」のご来日は、1978年を皮切りに、貴代表团を含め、やはり4回に及んでおります。このような相互訪問は、日中両国の友好と、地域レベルでの交流の発展に、大きく貢献しているところであります。

その成果の一例を申し上げますと、我が国には47の都道府県がございますが、そのうち、貴国の省や自治区、中央直轄市との間で、友好提携を行っている都道府県の数は、31に達しております。私が知事を務めております、東京都も、1979年に、貴国の首都・北京市と、友好都市提携の調印を行い、以来、多彩な交流を展開してまいりました。

皆様は、福岡、山口、鳥取、福島、東京の五つの都県を歴訪され、各地で知事をはじめ、地元各界の人々と、地方行政や経済の課題について、活発に意見を交換されるとともに、交流を深めてこられました。また、我が国の美しい自然や文化にも、触れていただけたことと存じます。私は、こうした交流の積み重ねが、日中両国の友好関係の強化はもとより、アジア・太平洋地域の平和と安定にも、大きく貢献するものと確信いたしております。

貴国におかれましては、今、経済建設をはじめ、様々な分野で、目覚ましい成果を挙げておられます。賈志傑団長が省長を務めておられる湖北省におかれましては、長江に、世界最大級の水力発電所を建設され、その波及効果に、大きな期待が寄せられていると伺っております。私は、中国の各省、自治区、中央直轄市の、更なる躍進を、心から念願するものでございます。

今宵は、どうか、お時間の許します限り、ごゆっくり、ご歓談いただきたいと存じます。終わりに、両国の友好関係の発展と、皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、私の歓迎の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

(3) 賈志傑中国省長代表团団長挨拶

尊敬する鈴木俊一会長、並びに尊敬する日本全国知事会の友人の皆様

日本全国知事会の暖かいご招待にあずかり、第4回中国省長代表团は、11月8日に貴国を訪問にまいりました。それからこの10日間で、福岡・山口・鳥取・福島そして東京を訪問さ

せていただきましたが、各地に到着する度に、日本の友人の皆様の暖かい歓迎とおもてなしを頂戴し、非常に興味深く内容豊かな旅を楽しむことができました。さらに今宵は、鈴木会長には、大変お忙しい中、このような盛大な招宴を催され、素晴らしい友好のお言葉を拝聴させていただきました。ここに謹んで第4回中国省長代表団を代表して、衷心より御礼申し上げたいと思います。

さて、中日友好には悠久の歴史があります。更に友好協力を強化し、発展させることは、中日両国人民の共通の願いであり、これは単に両国人民の利益に合致するだけでなく、アジア・太平洋地域と世界の平和・安定にも寄与するものであります。1972年の中日国交正常化以来、政治・経済・科学技術・文化などにおける両国の交流と協力は著しい成果をあげています。中日両国の地方自治体間の交流と協力もまた大きな発展を遂げ、今では約140組の省・県・都市が友好提携するに至っており、これらは、中日の地方同士の理解と友情を深め、交流と協力を促し、地方経済を繁栄させる重要な役割を担っている所以であります。この度の私どもの訪日の目的は、両国の地方自治体同士の理解と友情を更に深め、日本の地方自治体の行政運営方法を学び、様々な分野の交流と協力を進めることでもあります。

中日友好協会と日本全国知事会とは、1979年に正式に友好関係を発足させて以来、一貫して良好な協力関係を保ってまいりました。そして、両者の努力により、全国知事会は既に4回目の訪中を果たし、中日友好協会もまた第4回省長代表団を訪日させることができました。この相互訪問によって、両国の地方自治体間で理解と友情が深まり、交流と協力が広がると同時に、中日友好協会と貴会との関係も一層親しいものとなりました。今日のこのような成果は、鈴木俊一会長と貴会の皆様のご努力なしには考えられないものであり、私は、第4回中国省長代表団を代表して、鈴木会長と貴会の皆様が中日の地方自治体の協力関係を発展させるために注がれたご尽力とご貢献に対し、心から敬意を表したいと思います。そして私は、貴会と中日友好協会との協力関係が更に深まり、中日友好の事業のためにより一層貢献されることを希望致します。

私どもの訪日日程もうすぐ終わり、明日は帰国致します。日本での滞在期間は短いものではありましたが、内容は大変満足できるものでありました。訪問を通じて、貴国の高度に発展した経済、進んだ科学技術、文化、教育、運営方法など、すべての面に深い感銘を受けましたが、特に全国知事会と各地の日本の皆様のご行き届いたご配慮と暖かいおもてなし、そして中国人民に対する友情には大変感激致しました。私どもは、日本の皆様の中国人民への深い友情とご厚意を、代表団の六つの省の人民にしっかりと伝えたいと思います。

最後になりましたが、鈴木会長並びに日本全国知事会のご招待と暖かいおもてなしにつき

まして、重ねて心より御礼申し上げます。

鈴木俊一会長並びにご在席の皆様のご健康と日本全国知事会のご繁栄とご発展を祝し、中日友好協会と日本全国知事会の交流と協力の更なる発展と、中日両国人民の友好が子々孫々まで続くことをお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

(4) 来賓代表挨拶（佐藤観樹自治大臣）

自治大臣の佐藤観樹でございます。

自治省を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

来日されてから 10 日間が過ぎ、その間皆様お元気で、所期の目的を達成し、ほぼ予定の日程を終えられたこと、心からお慶び申し上げます。

この会は、日中両国の親善、地域間交流の発展に資することを目的に、昭和 49 年以来知事の相互交流が継続して行われているということであり、誠に意義深いものと存じます。

豊かな地域をつくることを目指す自治省としましては、国際化の進展の中で、地域の国際交流活動を積極的に支援しているところであり、1991 年 12 月には、日中交流の起爆剤となるよう中国の地域づくりリーダー約 280 名をお招きして交流事業を実施しました。

また最近では、海外青年招致事業、いわゆる JET プログラムの一環として中国から地方政府職員を 11 名国際交流員としてお迎えして日本各地で活躍していただいている他、来月中旬には日中両国の地方行政の分野での友好・協力関係の推進を図るため、地方行政に携わる幹部を日本に招へいする予定であります。

どうかこのような交流会議を通じて、日中両国、ひいては地域レベルでの交流が一層深められるとともに、皆様のご健勝と日中両国が共に発展することを心より祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

(5) 全国知事会会長主催歓迎レセプション出席者名簿

○中国省長代表団

団 長 湖北省省長 賈 志 傑
 副団長 広西チワン族自治区主席 成 克 傑
 団 員 福建省副省長 王 良 溥
 団 員 山西省福省長 劉 沢 民
 団 員 山東省副省長 陳 建 国
 団 員 安徽省副省長 楊 多 良
 秘書長 中日友好協会秘書長代行 陸 珙 琪
 随 員 中日友好協会理事、 王 秀 雲
 都市交流部部長
 随 員 中国国際友好都市連合会 畢 惠 風
 弁公室主任
 随 員 中日友好協会職員 鄧 曉 峰

○中国大使館

参 事 官 高 捷
 三等書記官 井 頓 泉

○衆議院

渉外部長 村田 光平

○参議院

渉外部長 川島 純

○経済団体連合会

読売テレビ会長 青山 行雄
 常務理事 糠沢 和夫
 アジア部 青山 周

○自治省

自治大臣 佐藤 観樹
 自治事務次官 森 繁一
 大臣秘書官 岡本 全勝
 官房総務審議官 松本 英昭
 行政局長 吉田 弘正
 財政局長 湯浅 利夫
 消防庁長官 紀内 隆宏
 国際室係長 熊谷 弘
 国際室事務官 細田 尚志

○全国市長会

事務総長 小林 悦夫
 調査広報部長 三橋 信之

○自治体国際化協会

理事長 津田 正

○国際親善都市連盟

事務局長 上野 宣治

○都道府県

東京都知事 鈴木 俊一
 (全国知事会会長)
 秋田県知事 佐々木喜久治
 福岡県知事 奥田 八二
 熊本県副知事 松村 敏人
 福島県東京事務所長 岡崎 修吾
 東京都企画審議室 大江 尚樹
 広域連絡担当部長
 鳥取県東京事務所長 土井 康稔
 山口県東京事務所長 綿谷 滋二
 福岡県東京事務所長 元村 悟
 熊本県東京事務所長 吉丸 良治
 沖縄県東京事務所長 安村 哲三

○全国知事会事務局

事務総長 砂子 田隆
 事務局次長 峯島 巖
 調査第一部長 矢野 文一
 調査第二部長 中野 正志
 連絡広報部長事務代理 田中 勉典
 建設準備局長 仲道 正臣

研究室長 西澤 得三
 管理部長 矢萩 栄蔵

渉外部長 柳田 躬嗣

(他6名)

○通訳

浅井 千恵
 及川 勝洋

渋谷 裕子
 時松 史子

4 要人との会見要旨

(1) 東 祥三外務政務次官との会見

11月15日(月) 17:50~18:15 4階政務次官室

主な同席者：渡辺英雄中国課地域調整官

王月琴中国大使館参事官

柳田全国知事会渉外部長

(通訳：渡辺信之中国課事務官)

東次官 ようこそお出で下さった。10名の方が来られたと伺っている。本日福島県から東京に着かれた由。これまで各地方で人々との交流を持たれたことと思う。意見交換を通じ理解が深まる。日本の各地方との交流が深まることを期待する。

昨日14日に、中国共産党の第14期第3回中央委員会全体会議が終了したと聞いている。鄧小平氏の提唱による改革路線がさらに明確になると伺っている。これによってさらに中国の市場経済が進むことを期待している。とくに地方では各地の特色を生かした省運営により一層の発展が望まれる。皆さんの訪日を通じ共通の部分が発展することを望む次第だ。日中関係は、いうまでもなく、今後とも緊密な良好な関係が維持されると思う。このことは日中関係のみならず、アジア・太平洋の安定のためにもきわめて重要だと思う。

いうまでもなく、昨年日中国交正常化20周年にあたり、江沢民主席が訪日された。また、日本から、天皇、皇后両陛下が訪中された。ますます日中関係が深化している。今年日中平和友好条約締結15周年記念の年である。日中関係がご案内のとおり発展してきて、若い政治家もどんどん来るようになった。日中関係も今までの実績を踏まえ、成熟したものにせねばならない。国際社会の直面する諸問題に対処していくためにも、日中両国が密接な関係を保って行きたい。我々は貴国の開放改革路線を歓迎するとともに、そのためにできるだけのことをさせて頂きたいと思う。再び、改めて賈志傑団長はじめ中国省長代表団の訪日を心から歓迎する。

団 長 尊敬する東先生、我々10名の団は福島県の訪問を終えてさきほど東京に着いた。外務省を訪問したことを光栄に思う。代表団を代表して、会見を心から歓迎する。

このたび、全国知事会の招きで第4回訪日代表団として訪問し、今まで8日間滞在した。我々は福岡、山口、鳥取、福島の四つの県を訪問した。至るところで心暖まる歓迎を受けた。至るところで友好関係を深め、日本人の中国人民に対する暖かい気持を感じた。

さきほど東先生が言われたように、去年は中日国交正常化20周年にあたり、今年中日平和友好条約締結15周年にあたる。昨年中国の江沢民総書記がお国を訪問し、日本の天皇、

皇后両陛下が歴史上はじめて訪中され、中日関係は新たな段階に入った。この記念すべき時期に我々が訪日したことは意義が深いと思う。

中国共産党の14期3中全会が昨日閉幕した。この会議では、重要な決議がなされた。この決議には、中国がさらに改革開放政策を進め、経済を発展させる重要なプランが含まれている。対外開放政策で一番大事なパートナーであり一衣帯水に位置する日本との友好を発展させることが最も重要なことだと考える。訪問各県の皆さんは、日本は国際化時代を迎えたとおっしゃった。これは、中国の対外開放と同じ意味を持っている。中国は日本の国際化時代と結びついていると思う。このたびの訪日を通じ両国間の友好はさらに強化され、新たな段階に入り、新たな意味を持ってくると思う。子々孫々にわたる中日友好を祈りたい。

我々代表团は六つの省からなっている。広西チワン族自治区の成克傑、福建省の王良溥、山西省の劉沢民、山東省の陳建国、安徽省の楊多良の各氏だ。携えてきたのは六つの省の日本への友情だけでなく、中国全国の友情を携えてきた。我々は日本の四つの県と東京を訪問した。我々が中国へ持ち帰るのは、四つの県と東京都の友情だけでなく、日本全国人民の友情を持ち帰ると思う。六つの省の省長の一致した意見は、日本の友情を持ち帰り、花を咲かせたいということだ。

鄧小平同志が申したとおり、我々は、人類の先進的なものはすべて学ばねばならない。すばらしい発展を遂げた日本は中国と同じ文化と伝統的なものを持っている。我々はお国で沢山のことを勉強した。日本のすばらしい経験を大いに学んで中国の経済を発展させることが我々の願いだ。我々の願いは、これからさらに中日関係を促進し、六つの省と四つの県と東京都との関係をさらに発展させてほしいと思う。日本がますます繁栄することを祈る。

次 官 日中の将来にわたるお話を伺い感謝する。たしかに、経済、技術の点では日本の方が進んでいるかもしれない。しかし、貴国の5,000年の歴史と経験は、示唆に富むものと思う。その中心をなすものは人間の交流だと思う。

とくに賈団長は、1988年に当時の竹下総理が敦煌を訪れた時、竹下総理への接遇を下さったと伺っている。こういうことが礎となって2国間の交流も進むのだと思う。私も大学時代から貴国と交流を持っている。ただ、北京へは一度しか行ってない。

団 長 代表团のメンバー紹介の際、中日友好協会の人を紹介するのを忘れた。(団長、中日友好協会の随員を紹介する。)

次 官 あと日本滞在も3日足らずだが、残された期間大成果を得られるよう期待している。

団 長 東先生には是非機会を見つけて我々の六つの省に来て頂きたい。

(2) **佐藤観樹自治大臣との会見**

11月17日(水) 10:00~10:21 自治大臣室

主な同席者：岡本全勝秘書官

砂子田隆全国知事会事務総長

(通訳：浅井千恵)

佐藤自治大臣 皆さんようこそいらっしゃった。毎年中国との交流は現にかなり行われているが、何といても一衣帯水の国であるから我々としてはもっともっと交流を深めたいと思っている。

皆さんの省は区域も広いので住民の方々を管理するのも大変だと思う。仕事の範囲も広くて骨が折れることと思う。

すでにお聞きかと思うが、自治省でも、たとえばアメリカの英語の先生を日本の学校に来てもらって中・高校生に英語を教えてもらう事業を自治省が中心になってすすめている。去年からは中国の方々にも来て頂いている。通訳、翻訳などの仕事をやって頂いている。今年は11名の方が来て、各県で働いてもらっている。このような具体的な事業を私のもとでひろげて行きたい。多くの人に来てもらいたいと思っている。今度回られた所のご感想をお聞きしたい。

団 長 四つの県を訪問した。福岡、山口、鳥取、福島を訪問してから東京に来た。第4回訪日中国省長団は、全国知事会のお招きで友好訪問した。全国知事会の行き届いたお取り計らいによって、初歩的な成果を収めた。知事会の砂子田事務総長は、今回の訪問に特に関心を寄せて下さった。渉外部の柳田氏も全コース同行してくれた。至る所で友人の暖かいお出迎えを頂き、友好的な懇談の機会を持った。色々な工場や農家を見学し、また日本各地のすばらしい景色を見た。すぐれた文化にも接触した。また日本全国各地ですばらしい発展を遂げている状況を見た。沢山の経験は一つ一つ非常な勉強になった。

このたびの訪問を通じて強く感じたのは、日本人民の中国人民への暖かい友情である。この友情は子々孫々に至るまで両国人民の心の中に深く入りこんだものとなることを期待する。日本訪問も終りに近づき、明日は帰国の途につく。我々は中国人民の友情を携えてきたが、日本人民の深い友情を持ち帰ることとなる。このたびの代表団の構成は六つの省、自治区と中日友好協会の皆さんである。我々一行は帰国のあと、中日友好をアピールしたい。

大 臣 私は1972年、12人の1年生議員の訪中団の一員として中国に行った。土井たか子氏や

北海道知事の横路氏もいっしょだった。その時は広州に1週間、北京に2週間いた。北京では北京飯店に泊った。それから延安に行き、東北地方の撫順、鞍山にも行った。その時、深圳にもお邪魔した。去年久しぶりに深圳を訪れたが余りの変りよう、発展ぶりに驚いた。両国が経済の面で交流することはすばらしいことだ。そして中国の各都市が深圳のように大きく発展するのはすばらしいと思う。

福島県にも行かれたそうだが、今年は日本では夏が寒く、気温が低かったため米の出来が悪い。お国ではどうか。

団 長 今年は、中国の農業は豊作だった。ある地域では夏に気温が低く、綿花に若干の影響があった。また、海拔1,000メートルを越える高山地帯で、食糧生産に影響があった。だが、全国的に見れば豊作だった。

どうか六つの我々の省を訪問されることを歓迎する。今は便数も多くなった。

大 臣 細川内閣の最優先的課題である政治改革法案が委員会を通ったところだ。今は我々は日本から出られない。しかし是非その中機会をみつけてまた訪中したい。

今、課題は沢山あるが、もう一つ私としては、国が持っている権限を各県、市に移して行こう、独自に事業をやるようにしようと考えている。地方分権もなし遂げねばならぬ。中央の各省庁は権限を離したがるらないが、細川内閣になってこれを大きく進めねばならない。私は責任者としてこの問題に頑張っていきたい。

(代表団から贈物として、4億3,600万年前の昆虫の化石が大臣に贈られた。これに対し大臣から七宝焼が贈られた。)

大 臣 七宝焼の技術はお国を通して入ってきた。日本の文化はほとんど皆お国から入ってきたものだ。お国をお邪魔できるのを楽しみにしている。

(3) 原文兵衛参議院議長との会見

11月17日(水) 13:53~14:23 参議院議長公邸

主な同席者：赤桐操副議長、戸張正雄事務総長

川島純渉外部長

王 毅在日中国公使参事官

砂子田隆全国知事会事務総長

(通訳：浅井千恵)

原議長 鈴木知事は私と同じ内務省出身で私より3年先輩だ。今中国が大きく発展していることは喜ばしい。地方がしっかりして、自治が発展することが国全体の発展の基盤になる。賈省長はじめ各省長、副省長のご健闘に心から敬意を表する。各県をお回りになったと伺

っているが地方のレベルでの交流が今後一層発展することを祈る。皆様の各省のご発展、中国のご発展をお祈りしてご挨拶とする。

賈団長 尊敬する原文兵衛衆議院議長先生、友人の皆様。議長には、お忙しい所を我々中国省長代表団と会見して下さい、まことに光栄に存ずる。また嬉しく思う。議長と副議長にお礼申し上げたい。第4回中国訪日代表団は、全国知事会の招きで日本に参った。福岡に入国してから山口、鳥取、福島を経て東京に来た。至る所で各県知事、友好団体等の暖かい熱心な歓迎を受けた。団員一同、日本人民の中国人民に対する友情を感じた。また代表団は、日本の経済がすばらしく発展した姿を見た。このたびの日本訪問の目的は、中日友好の促進である。これがさらに高度の段階に進むよう努力したい。また日本のことを大いに勉強したい。日本は市場経済の発展した国だが、中国の社会主義経済の発展のために参考になる点が多いと思う。

今月14日中国共産党の三中全会が閉幕した。これは中国の歴史上重要な会議であり、重要な決議が可決された。すなわち社会主義市場経済確立についての決議が採択された。我々は経済改革を望んでいる。社会主義市場経済システムを早く確立したい。我々は良い時期に訪日したと思う。昨年は中日国交正常化20周年を祝い、今年は中日平和友好条約締結15周年にあたる。中日関係は今新たな段階に入っている。このたびの日本訪問において我々は各県の見学を行い、沢山のことを勉強した。その経験を中国人民に持ち帰りたい。我々は中日関係を一層発展させるため、頑張りたい。子々孫々に至るまでの中日友好をお祈りしたい。議長先生、副議長先生、事務総長先生のご健康をお祈りする。

議 長 我々は省長団の皆様のご来訪を心から喜んでいる。

団 長 中国共産党の第14期3中会議の決議の中には、経済の発展を早めるということも含まれている。対外開放政策によって一衣帯水の隣国である日本との関係をうまく処理して行きたい。我々の願いは、中日の友好協力を深めたい。議長、副議長、事務総長にはどうか我々の六つの省にお出で下さることを祈っている。

(ここで贈物の交換が行われた。)

議 長 12億の人口を持つ中国は、将来どこまで発展するか計りしれないものがある。スポーツの分野でも、中国はどんどん金メダルを取っている。ところで湖北省の気候はどうか。

団 長 東京と同じ位だ。北京は東京よりちょっと寒い。北京はもう-3℃位になっている。中国は広い国だから、北の方は冷え込むが南の方は暖かい。南に行くと30℃~40℃にもなる。

議 長 上海は暖かいのか。

団 長 上海は暖かい。雪は余り降らない。降っても積もらない。広東省、江西チワン族自治区、海南省では雪はほとんど降らない。

議 長 鈴木都知事には会われたか。

団 長 すでにお会いした。今晚鈴木知事会会長の名前で招待して下さることになっている。このあとは、日本の経団連に参る予定である。経団連での会合には、六十数名の人が出席することになっている。

議 長 経団連会長は出られるか。

団 長 副会長で中国委員長の三田先生が迎えて下さると伺っている。

赤桐副議長 私もまだ中国へは一度も行ってない。その中是非お邪魔したい。今中国では、経済がめざましい発展を遂げつつある。私は新しい政策が成果を挙げていることに興味を持っている。今後の中国の発展に期待している。

団 長 私の湖北省は、中国の主な工業・農業基地である。江漢平野は米と魚の故郷だと言われる。改革開放政策が行われて以来、農業の発展は早い。今は中国の食糧、綿花の主な産地だ。また重要な工業基地だ。中国で一番大きな葛州壩かつしゅうほ水力発電所は湖北省にある。三峡ダムも湖北省にある。湖北省はまた鉄鋼生産、自動車生産の主な基地である。沢山の綿花がとれる中国の紡績の基地でもある。10月までに湖北省の工業生産は20%以上のびた。インフレ率は15%位だ。今、中央政府の指導を受けながら、発展のスピードを抑制している。18%以内におさめるつもりだ。今年の湖北省のGNPは1,100億元になる。工業、農業は2,100億人民元、財政収入は110億。基本建設も規模が大きい。来年ものびると思う。中共14期三中全会のあと、さらにうまく行くと思う。

議 長 三峡ダムは世界的な景勝の地だが、景勝は守られるか。

団 長 三峡ダム建設が竣工すると水位は海拔175mになる。若干の景勝地は影響を受けるが、ほとんどの景勝地は影響を受けないですむ。水位が少し高くなっても、景勝地はもっと高い所にある。あぶない所はこれからはなくなる。揚子江の水位の変化によって支流にも船が入れるようになった。沢山の小さな三峡ができる。

(議長から、国会の紹介図書と参議院のメダルが団員への贈物として渡される。紹介書は中国語で書いてある。)

(4) 経団連訪問（懇談会）

11月17日（水）15：43～16：50 経団連会館9階906号室

主な同席者：三田勝茂経団連副会長・中国委員長

糠沢和夫同常務理事

藤原勝博同アジア部長

懇談：飛山一男いすゞ自動車会長、松本和男三和総合

研究所会長、青山行雄読売テレビ放送会長等

財界60余名出席

砂子田隆全国知事会事務総長

（通訳：浅井千恵）

三田副会長 賈志傑団長はじめ中国省長代表団の皆様。本日は、お忙しい日程の中を経団連にお出で頂き感謝にたえない。初めに、経団連を代表して、ご一行の来訪を心から歓迎申し上げます。

皆様ご承知の通り、中国は経済改革の一環として、中央集権型から地方分権型の経済体制へと転換を図っている。昨年秋に開催された共産党大会では「社会主義市場経済」の構築が掲げられ、改革・開放が加速されているが、今月11日から14日にかけて北京で中国共産党の第3回全体会議が開かれ、市場経済確立に向けて大胆な内容を盛り込んだ決定が採択された。このような市場経済化の新たな潮流の中で、今後中国が飛躍的な発展を遂げるためのカギは、地方の自主性を発揮させつつ、いかに均衡ある経済発展を実現できるかにあると言われ、中国経済における地方の役割は今後一層高まるものと考えられる。その意味では、賈志傑省長をはじめとする省長、副省長の皆様のご活躍が期待されている。

本日は賈志傑団長から、中国経済の現状について30分ほどお話をお伺いし、残りの時間を懇談にあてたい。

賈志傑団長

尊敬する三田勝茂副会長先生、ご来席の皆様、本日は経済団体連合会を訪問して中日経済交流について話し合う機会を与えられたことを光栄に思う。

日本は中国と一衣帯水の位置にあり、両国間の友好往来は2000年の歴史を持っている。このような往来を一層拡大し強化することは両国人民の利益になるばかりでなく、アジア、世界の平和に寄与すると思う。

この機会に現在の中国の経済情勢をご紹介したい。経済は順調に伸びており、対外開放政策によって目立つ成果を挙げている。経済・金融秩序も安定し、今年の第一・四半期から第三・四半期のGNPは、前年同期比13.3%伸びた。我々代表団の省、自治区は経済対

外開放政策を進めている。広西チワン族自治区は中国の西南部にあつて対外経済交流の門戸になりつつある。山東省、福建省は沿海対外開放地区で開放経済が最も早く進んでいる所だ。山西省と安徽省はエネルギーや原材料の生産地だ。私の湖北省は経済の状況は良い。農業は豊作であり、工業は年 20%の伸び率を示している。経済の効率も利益も向上しており、建設も早いスピードで進んでいる。第一・四半期～第三・四半期に、輸出入は 14%以上伸びた。湖北省は改革開放政策の下で 90 年代に大きな経済の進展を見ているが、さらに新たな発展への潜在力を持っている。湖北省は、東西、南北交通の接点をなしている。湖北省の開放と開発の見通しは明るい。冶金、機械、紡績、化学工業の生産が盛んで、省内には武漢鉄鋼公司、東風という大型水力発電所がある。自動車、鉄鋼、布地の生産は、全国的に上位にランクされる。また江漢平野は魚の故郷だと言われる。農産物と商品の生産も高い。自然資源の豊富な湖北省は 3,310 万キロワットの水力発電能力を持つ。中国の後背地に位置していて開発、利用にあたって余り資金もかからない。

湖北省は科学と教育にも力を入れている。省内に 61 の大学約 1,000 の科学研究機関があり、90 万人の科学技術者がいる。科学技術については全国的に上位にランクされている。ハイテクの分野の生産も進んでいる。湖北省は開放政策によって建設の発展のテンポを早めている。

揚子江経済ベルト地帯に位置する湖北省は、黄金地帯と呼ばれる。省内を流れる揚子江は 106 キロあり省の大・中企業、大学の多くは武漢はじめ揚子江沿いの都市に集まっている。天の時、地の利は湖北省にとってとても有利になっている。

巨大な三峡ダムは、発展の強い推進力であり発電能力はトータルで 1,820 万キロワット、年間発電量 840 億キロワット・アワーで、これができ上がると世界一になる。三峡ダムは投資額約 1,000 億人民元。後方基地として関連する産業の発展が期待される。大型プロジェクトとして武漢製鉄所は年間 1,000 万トンの鉄鋼生産能力を持つようになる。また東風の製造グループは乗用車を 30 万台生産しており、将来は年間 100 万台生産できるよう計画している。また北京・香港間の鉄道建設等インフラ整備についても、国家の重点プロジェクトとして新たな規模で推し進めて行くと思う。

中国共産党の第 14 期第 3 回会議が北京で開かれ、このほど閉幕したが、この会議は中国の歴史で非常に重要なものである。この会議で重要な決議が採択された。社会主義市場経済に基づき、対外開放、国際化のテンポを早めたい。われわれは、日本が中国にどしどし投資し経済活動を展開することを期待する。我々は貴国のすばらしい産業を見た。我々は中日友好のために努力したい。そしてこの目的達成のため頑張っていきたい。

成克傑副団長

三田勝茂先生、賈団長は只今中国の国民経済について基本的なことを述べた。中国の経済は中央政府の計画に基いて行われている。

広西チワン族自治区は中国の西南地域に位置する。貴州省、雲南省、広東省、チベット自治区、海南省は一つの経済区域になっている。鄧小平の方針の下で広西チワン族自治区の経済が発展してきた。1992年に中国の経済は前年に比し12.8%伸びた。93年のGNPの伸びは20%を越えると思う。国は広西チワン族自治区を重視している。広西チワン族自治区は、中国西南地区の中心部に位置している。いくつかの自治区の中で、海に面している唯一の自治区だ。1,600キロの海岸線を持っている。五つの港と4本の鉄道を持っている。人口は4,500万、面積は23万平方キロ。また非鉄金属のふるさとと言われ、中国有数の大きなアルミ工場がある。広西チワン族自治区は水力資源にも恵まれている。

問 (飛山いすず自動車会長) 湖北省では東風号が年間30万台生産されていると伺ったが、合弁の相手としては今どこを考えているか。

答 東風工場は、昔の第2トラック工場の基礎の上にできた。主に東風というトラックを作っていたが、今は乗用車を作っている。武漢で建設をしている。フランスのシトロエンとやっている。

問 部品工業が大切だと思うが、現状と将来の計画は？

答 今非常に自動車の生産を重視している。第2自動車製造工場は湖北省にある。今、さらに十堰に進出している。自動車の新しい生産基地だ。十堰から武漢まで500キロ離れている。武漢にも進出している。500キロ余りの漢江の兩岸に立地している365社が部品を作っている。今までの何年間かは中国は自動車は輸入するだけで製造は余り重点を置いてなかった。中国の自動車生産の中核は、第1自動車製造工場、第2自動車製造工場、それは南京と上海にある。合弁は一つのグループと行うことにしている。同時に自動車部品工場にも投資することと思う。いすずは我々にとっておなじみの車であり、中国の各地で走っている。中国人の間で人気がある。いすずとは、車の部品の生産についても協力して行きたい。

問 (松本三和総合研究所会長) 経団連でアンケート調査をしたら、140社のうち3分の2の109社が、中国の経済成長の障害になっているのはインフラの不足だと言っている。最近中国は分権が進み、中央より地方の方が税金が増えていると聞く。国家全体の経済発展のためには、中央と地方とがバランスよく発展する必要がある。中央のマクロコントロールの下で地方と中央の税金を一定の比率に保つ、つまり地方と中央の税金のバランスを保つことが重要だと思う。

答 (団長) 松本先生の調査は正しい。中国の経済の発展のスピードが早いと、二つの問題が出ています。一つはインフラ整備の問題、もう一つは経済の発展のアンバランスである。金融秩序を保つ措置をとり、インフレ率を10%以内に抑えて、経済のアンバランスの拡大を防ぐ必要がある。中国政府は、いわゆるボトルネック産業の発展を考えている。ボトルネックにあたるインフラストラクチャーは早いスピードで整備が進んでいる。中央と地方の財政制度は、主に世界各国のルールを参考にして作られた。中国では、改革を通じ中央と地方の積極性を引き出すことに努めた。78~93年の15年間成果を挙げたのは、中央と地方の積極性を引き出したからだ。税制改革が終れば、中央、地方の税の取り率は、世界各国の中で中間位になる。中央政府は正当な税金を得て全国的インフラを作り、複数の省にまたがる建設問題を解決する。このように中央と地方にとって有利な方法を取り、ボトルネックの解決にあたりたい。

問 (三田副会長) 中国に外国から投資するとき、省によって優遇策に相違があるか。

答 (団長) 確かに食い違いがある。深圳や厦門では税の徴収は低い。15%だ。外の地域は30%である。このようなやり方は、市場経済メカニズムに対応できない。市場経済は公平に競争するというのが原則だ。このようなことは内陸部の省にとっては不利だ。とくに外国企業の誘致には不利だと思う。我々六つの省はほとんど皆内陸部にある。我々は、いずれ違う時期に、平等で公平な競争メカニズムを要求するつもりだ。中央政府はこの問題は解決できると言っている。改革によって開きがなくなると思う。これからの目標は、公平で統一した税制だと思う。

問 省長は日本の総人口の3分の1位の人口をかかえ、省長は省の最高の責任者であるから、省長の権限で外資を優遇できるのではないか。

答 ある方面はできると思う。たとえば、一つは電気、水道、ガス、通信、下水道など。また、土地を道路にする時など優遇政策を与えることができる。また、銀行の融資も保証することができる。税の徴収は国が決めた通りに行っている。

(5) 土井たか子衆議院議長との会見

11月18日(木) 11:04~11:26 衆議院議長公邸

主な同席者：村田光平参議院渉外部長

王毅在日中国公使参事官

砂子田隆全国知事会事務総長

(通訳：浅井千恵)

土井議長 よくいらして下さった。今度のご来日は過密な日程ですね。8日に福岡到着から始まったとのことだが、皆さんは以前日本にお出でになったことがあるか、はじめてか。団長さんは。

買団長 私は3回目だ。

議長 私は3年前、5年前に訪中した。今年また訪中した人の話を聞くと、中国は今急激に変わりつつあるとのことだ。

団長 私はおおむね6年おきに日本に来ているが、日本も変化がはげしい。経済建設がさらに進んでいる。今朝、東京の証券取引所を参観したが、団員は皆興味深く感じていた。中国では、市場経済に移行する政策が決まっている。証券取引所は市場メカニズムにとって必要な存在だ。深圳と上海に証券取引所がある。

議長 取引の様子は仲々よくわからない。

団長 詳しく説明して頂き大体わかった。

議長 私などは説明を2回聞いても3回聞いてもわからない。取引所ではスピードと活気に圧倒される。中国でもこれからそういう場所が増えるのだろう。

団長 中国では、沢山の証券取引所を作る予定はない。せいぜい3か所程度だ。市場経済が発達した日本でもそんなに沢山はない。二つ位だ。ネットワークは全世界と結びついている。中国は市場経済をはじめたばかりであり、勉強し始めたところだ。

11日間の訪日で、今日は最後の日である。午後3時すぎの飛行機で北京に帰る。我々は二つの成果をおさめた。一つは日本との相互理解を深めたこと。もう一つは大変良い勉強になった。

土井たか子議長には、お忙しい中を会見して頂き非常な光栄であり、嬉しく思う。土井先生には、ご都合のよい時期に、我々の六つの省、自治区を訪問されたい。

議長 ご招待には心から感謝する。私どもの国は市場経済によって発展してきた。今回のご来日で日本の色々な場面をごらんになり、一定の成果をおさめられたことと思う。我が国も、良い点ばかりでなく、反省して直さねばならない部分もあることは事実だ。とくに最近では地球的規模での環境・公害問題が起こっている。経済最優先で、猛烈なスピードで突

っ走ってきたが、環境・公害問題等反省すべき点も持っている。とくに1970年代に日本ではその問題が深刻だった。このことは私の活動の中で言える。私の経験から、国会の中で政治活動をするのがいかに大事であるかを痛感している。

また地域の人々が地域で努力することが重要だ。今、多くの省や市が姉妹提携を行っているが、提携の中で経済を発展させ環境を守って行くことが日中間の重要な問題になると思う。

我々は中国から文化を教わった。文字は我々の生活や人生になくってはならないものだ。最近では文化交流がいよいよ大事になってきた。人的交流、地域交流、民間交流は大変大事である。とくに省・県をはじめとする自治体同士の交流はとても大事だと思う。日中の交流は、経済だけでなく、アジア・太平洋地域の経済の規模が大きくなる中で、交流が重要になってくる。世界的規模で平和を維持する上で、日中の経済交流、中国とのおつきあいはいよいよ大切になってくると思う。

団 長 全く同感だ。今、世界では二つの最も重要なことは、①平和及び②経済発展である。世界の平和と経済の発展が最も大事なことである。

中国は大胆な改革開放政策をとることによって有利なチャンスをつかみ、速い経済発展をはかりたい。土井先生のご意見は正しい。中国は、開放政策を通じて隣国日本との交流を発展させねばならないと考えている。中日友好は世界の平和に寄与する。両国政府は、世界の安定のために果たさねばならぬ責任と義務がある。

我々代表団を構成する省長、副省長は、帰国してから日本との多様な関係を発展させ、友好関係を深めるため努力いたしたい。

議 長 最近では中国から来訪する人がとても多い。お互いに遠慮なくものが言えるようになったのは嬉しい。この間中日友好協会の孫平化会長がお見えになったが、中国では今のカラオケがはやっているとのことだ。

団 長 先生のおっしゃる通りだ。日本のカラオケは、日本の世界に対する貢献だ。中国では今、京劇のカラオケまである。

議 長 お国にお帰りになったらお元気でご活躍されることを祈る。

(贈物の交換。議長から団員へメダルと本を、団長から議長へ絵を贈った。議長は玄関まで見送る。)

5 訪問都県知事のスピーチ等

(1) 奥田八二福岡県知事（11月8日）

福岡県庁表敬における奥田知事挨拶

私は、福岡県知事の奥田八二です。

尊敬する湖北省省長、賈志傑閣下

尊敬する広西チワン族自治区主席、成克傑閣下

尊敬する中国省長訪日代表団の皆様

ようこそ福岡県にいらっしゃいました。皆様のご到着を心待ちにしておりました。

さて、皆様は、本日から11日間にわたって日本に滞在され、東京都ほか4県を訪問されます。

本県においても、明日早速、企業などをご覧いただくこととなっております。

本県は、日本の西南部、九州の東北部に位置し、九州と本州を結ぶ交通の要衝にあり、人口は484万人を数え、わが国で9番目に人口が多い県であります。

また、地理的に中国大陸に非常に近い位置にあり、古くから中国大陸と日本列島との交流の拠点として、歴史上重要な役割を果たしてまいりました。

さらに、九州の中核地域として、多様な産業が集積し、学術、文化や都市などの諸機能が充実しています。

また、本県には、本日までご到着になった福岡空港や北九州空港があり、福岡空港からは10月1日現在で北京、上海、大連、ハワイなど世界各地の空港へ週238便が就航しており、北九州港、博多港の二つの大きな港と併せて、本県は、国際交通基盤が非常によく整備されております。

本県は、このように恵まれた環境を生かしアジア地域や世界各国の人々との交流や文化、情報の交流の拠点としての役割を果たせるような地域政策を進めているところであります。

明日は、本県の伝統産業、県民の日常的生活の場、先端技術を駆使した最新鋭の乗用車組立工場をご覧いただく予定を組んでおりますので、十分に本県の産業事情などについて、ご視察いただきたいと思います。

最後になりますが、皆様の日本滞在が実り多きものとなりますよう祈念いたしまして、あいさついたします。

福岡県知事主催歓迎晩餐会における奥田知事挨拶（ホテル日航福岡）

尊敬する湖北省省長、賈志傑閣下

尊敬する広西チワン族自治区主席、成克傑閣下

尊敬する中国省長訪日代表団の皆様

本日は、このように歓迎宴を催しましたところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

福岡県を含む九州という地域は、中国に非常に近いという地理的条件にも恵まれ、二千年余にも及ぶ日中両国の交流の窓口として、わが国の歴史上重要な役割を果たしてまいりました。

現在でも、県内では北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市がそれぞれ大連市、広州市、大同市、合肥市と友好提携を締結しており、また、九州内の各地で中国との間に多くの友好都市が生まれ、経済・学術・文化等多方面にわたる活発な交流が展開されております。

福岡県におきましては、1987年には日中定期航空路が開設され、また、1989年3月には、新しい中国総領事館が完成し、さらに、日中国交正常化20周年にあたる昨年11月には、江沢民閣下はじめ貴国の皆様の絶大なるご理解とご支援により、江蘇省との友好提携を締結することができました。

このように中国と本県の間には一衣帯水の友人の間柄にふさわしい、確固たる交流の礎が築かれてきております。

21世紀へ向けて、福岡県と貴国、ひいては日中両国の相互理解と友好関係が、ますます深まっていくよう希望いたしております。

本日は、これから新しい友人になる者同士が楽しく語り合う場であります。時間が許す限り、ご懇談いただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様の日本滞在が思い出深いものとなりますよう祈念いたしまして、簡単ではございますが、ごあいさついたします。

福岡県知事主催歓迎晩餐会における賈志傑団長答礼挨拶（ホテル日航福岡）

尊敬する奥田八二知事、ならびに尊敬する日本の皆様

私ども第4回中国省長代表団は、日本全国知事会のご招請にあずかり、本日より貴国を訪問させていただくことになりました。代表団が一步貴国の地に足を踏み入れるや、福岡県の友人の皆様及び東京からわざわざお出迎えにおいでくださった日本全国知事会の皆様が暖か

く歓迎してくださいました。そしてまた今夜奥田知事がこのような盛大な宴会を私どものために開かれ、心暖まるごあいさつをなさったことに対しまして、私は第4回中国省長代表団全団員を代表し、謹んで衷心より御礼申し上げたいと存じます。

さて、中日両国は一衣帯水の友好的隣国であり、両国人民は2000年以上にわたる交流の中で厚い友情を育んでまいりました。中日国交正常化以降、両国は政治・経済・科学技術・文化などの分野で交流と協力によりすばらしい成果を得、また中日の地方レベルの交流と協力も大きな発展を遂げました。そして昨年、中日国交正常化20周年を迎え、江沢民総書記が日本を訪問し、天皇皇后両陛下も中国を訪問され、中日関係は新しい段階に入りました。

また、今年には中日平和友好条約締結15周年にあたります。私ども代表団がこのような記念すべき時期に貴国を訪問致したのは、見学や訪問を通じて各界の方々と広範にお会いし、双方の理解と友情を発展させ、より多くの友人の皆様と交流して日本の地方政府の運営方法を理解し、経済・科学技術・文化などの分野における双方の交流と協力を強化するためです。

ところで、訪日代表団の最初の訪問地が福岡県であったことを、私どもは大変嬉しく感じております。福岡は美しい町並と豊かな産業をもち、経済的に大変発展している地区であり、かつまた中国とは悠久の友好関係にありました。1000年以上昔の隋・唐の時代、福岡は既に中日交流の掛け橋の役割を果たしていたのです。1979年以降、貴県の福岡市・北九州市・久留米市・大牟田市はそれぞれ中国の関連ある都市と友好都市になりました。奥田知事のご尽力により、昨年11月には福岡県と我が国の江蘇省とが友好提携しました。福岡県と中国との友好交流は長足の進歩を遂げております。奥田知事及びその他の日本の友人の皆様が中日の地方レベルの友好関係を発展させるため注がれたご努力には、私ども心より敬意を表します。私どもの今回の福岡県訪問は、時間的に余裕がないものでありますが、この訪問を通じて、必ずや貴県と私どもとは理解し合い、友情を深め、交流・協力関係が強化されるものと信じております。

終わりに奥田八二知事のご健康並びにご在席の皆様のご健康、福岡県の一層のご繁栄、そして中日友好事業の絶えることのない発展をお祈り申し上げます。

(2) 平井 龍山口県知事 (11月10日)

山口県庁表敬における平井知事挨拶

湖北省省長賈志傑先生を団長とする中国省長訪日代表団の皆様、ようこそ山口県をご訪問くださいました。心から歓迎申し上げます。

本県は、本州の西端に位置し、古くからアジア大陸との交通の玄関口となって盛んな交流が展開されてまいりました。このため、1982年8月、本席にも陳建国副省長をお迎えしている貴国山東省との友好協定を締結し、現在まで経済・文化・スポーツ・教育など多様な分野で積極的な交流を続け、両県省の相互理解と友好親善に大きな成果をあげているところであります。

近年、世界は次第にボーダーレス化し、人・物、そして情報が絶え間なく行き交っています。私は、このように世界の国々が国境を越えて相互に密接な関連を持ち、大きな影響を与えあっている時こそ、国政レベルでの外交にも増して国民一人ひとりの相互理解を深めるための地域レベルでの外交即ち自治体・民間外交が重要であると考えております。

特に、歴史的、地理的にも密接な関係にある日中両国の各地域が、相互交流を通じ互いの深い友情と信頼を築き上げていくことは、アジア地域のみならず、世界の平和と発展に大きく寄与することと存じます。

このような意味からこれまで、全国知事会のご努力により7回の相互訪問が実現し、今回皆様方を山口県にお迎えすることはまことに意義深く、訪日代表団の皆様には、山口県の自然や、産業・文化等をご視察いただき思い出の多いご訪問となって、友好と相互理解が一層深まることを期待しております。

終わりに、今回の訪日の目的が十分に達せられ、実り多い視察旅行となりますよう、また、皆様方のご旅行が快適なものとなりますよう、お祈り申し上げまして、私の歓迎のごあいさつといたします。

山口県知事主催招宴における平井知事挨拶 (ホテルニュータナカ)

開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

中国省長訪日代表団の皆様には、「朋遠方より来たるまた楽しからずや」で、今夕は、どうぞ我が家にお帰りになったつもりで、ごゆっくりおくつろぎいただきますよう、お願い申し上げます。

私は、貴国との友好交流が極めて重要であるとの認識から、1982年に山東省と友好協定を

締結し、爾来何度か訪中する機会を得ました。その際には、泰山、長江、広州など、中国の広大な山河や文化の深層に接して悠久の時の流れを想い、また中国の人々の深い友好の心に触れて、暖かい友情を感じました。

また、昨年、友好協定締結 10 周年記念式典のため訪中した際には、年率 10% を超える貴国の経済成長の現状を目の当たりにし、改革開放政策が着実にその成果をあげていることに対し、驚異と敬意を感じたのであります。

中国山東省は、本県が最初に海外との友好協定を行った地域であり、県内 4 市でもそれぞれ中国の市との友好協定を締結しております。また、小、中、高校、大学あるいはテレビ局においてもそれぞれの友好協定に基づく活発な交流が行われており、さらには「友好の船」、「友好の翼」などで中国を訪問した子供会、高校生等を含め、これらの交流事業で中国を訪問した県民が 1 万人にも達するなど、県民各界各層の交流により、互いの友好と信頼を深めてまいりました。

本日、訪日代表団の皆様をお迎えし、共に語りあい、東アジアに相接して位置する日中両国の友情を深めることができますことは、私の大きな喜びとするところであります。

どうか、時間の許す限りご歓談いただきまして、旅の疲れを癒し、また今回のご訪問を機に、今後 21 世紀に向けて新たな友情を築き、経済、文化、教育など幅広い交流ができますよう期待しております。

終わりに、貴国のますますのご発展と訪日代表団の皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。私のごあいさつといたします。

山口県知事主催招宴における賈志傑団長答礼挨拶（ホテルニュータナカ）

尊敬する平井龍知事、ならびに尊敬する日本の友人の皆様

私ども第 4 回中国省長代表団一行 10 名は、日本全国知事会のご招待により山口県を訪問させていただき、大変光栄に存じております。また今宵、平井知事はこのような盛大な宴会を開いて歓待していただき、かつ大変心のこもったごあいさつをしてくださいました。私は謹んで代表団一行を代表し、平井龍知事並びにご在席の友人の深いご厚意に対し衷心より感謝申し上げたいと存じます。

さて、1979 年、中日友好協会前会長廖承志の提唱により、山口県の下関市と我が国の山東省青島市とが友好都市の関係を結び、続いて山口県と山東省とが友好省県となり、その後、山口県の山口市・宇部市・美禰市もそれぞれ山東省の済南市、威海市、棗庄市と姉妹都市になりました。この十数年来、山口県と中国一特に山東省の双方が共同して努力した結果、

文化・教育・経済・科学技術など各分野で豊富で多彩な交流と協力が実現され、実り豊かな成果があがったことにつきまして、私どもは衷心より敬意とお祝いを申し上げたいと存じます。また、代表団の一員である山東省副省長陳建国は、皆様が必ずやこれを機に十分に意見を交換し、今後の協力方法について話し合われるものと信じております。同時に、私ども代表団員が所属するその他の省も、山口県と交流・協力し合い、山口県と我が国との友好協力関係をさらに深く広範に発展させたいと願っております。

今回の私どもの山口県訪問は、時間的に余裕がないものではありますが、今日琉璃光寺とマツダ自動車工場を見学し、山口県の古い文化に触れるとともに、進んだ現代科学技術を目のあたりに拝見させていただき、私どもは深い感銘を受けました。お国には、よい参考になる技術やノウハウが大変多く、私どもは、今回の訪問の機会を必ずや充分に活用させていただき、日本の方々の暖かい友好を中国人民に持ち帰るのみならず、日本の先端科学技術をも中国に持ち帰り、祖国の発展と建設に役立てたいと存じます。そして今後は、日本全国知事会・山口県及び各界の方々とともに手を携えて進み、中日友好関係の不断の発展を推進し、努力し続けたいと思います。

最後になりましたが、平井知事の私どもに対する暖かいご歓待に対し重ねて感謝申し上げ、山口県が日毎により大きく発展し繁栄することをお祈りします。そして平井知事のご健康をお祈りいたします。

(3) 西尾呂次鳥取県知事 (11月12日)

鳥取県知事主催歓迎会における西尾知事挨拶 (ホテルニューオータニ鳥取)

第四次中国省長訪日代表団知事歓迎会の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

尊敬する湖北省長賈志傑先生を初めとする第四次中国省長訪日代表団の皆様方、ようこそ鳥取県へおいでいただきました。鳥取県民を代表しまして、心から歓迎申し上げます。

さて、本年は、日中平和友好条約締結15周年の記念すべき年に当たるわけでございますが、これを契機に日中間の友好関係をより一層強固なものとすることは、日中間のみならず、アジア、そして世界の平和と繁栄に大きく貢献するものと考えております。

こうした中で、このたび、皆様方は、広範な分野での視察を通して、友好を更に発展させるため、全国知事会の招待により、我が国を訪問されました。そして、昨日鳥取県へおいでになられたところでありまして、非常に嬉しく思う次第であります。

私も、1991年、全国知事会訪中団の団長として、8月3日から8月13日まで、北京～蘭州～敦煌～西安～上海と貴国を訪問しました際には、皆様方から大変温かいおもてなしを受けまして、この場をお借りし改めて厚くお礼申し上げます。

本日団長としてお出でいただいています賈先生は、当時甘粛省の省長をなさっており、中国文化発祥の地でもあります敦煌の莫高窟をはじめ古い貴重な文化に接し、また新しい近代的な工場にもご案内いただき大変感激をいたしました。

また、蘭州市の黄河では羊の皮で作られたイカダに乗り、不安もありましたが、大変楽しかったことを覚えています。

当県におきましても、1986年に貴国の河北省と友好県省を締結するなど貴国との間で幅広い交流事業を進め、様々な成果を上げております。

今後どうか、当県と河北省を初めとする貴国との友好交流に、より一層お力添えいただきますようお願い申し上げます。

今回の皆様方のご訪問を契機に、今後、両国の繁栄と子々孫々にわたる友好関係が一層促進されるものと確信しています。

終わりに、賈志傑省長先生を初めとする皆様方のますますのご健勝とご発展をお祈りしまして、私のあいさつといたします。

鳥取県知事主催歓迎会における賈志傑団長答礼の挨拶（ホテルニューオータニ鳥取）

尊敬する鳥取県知事西尾邑次先生、並びに尊敬するご在席の日本の友人の皆様

私ども第4回中国省長代表団は福岡・山口両県の訪問を終え、全国知事会の友人の皆様のご案内で、貴国における3番目の訪問地、鳥取県へ友好訪問にまいりました。昨晚米子駅に到着致しましたところ、すぐ大変暖かいご歓迎をいただいた上、今晚西尾先生にはご多忙の中私ども代表団のためにこのようなすばらしい招宴を開いてくださり、また心暖まるお言葉をいただきました。団員一同感激にたえません。私個人としても、嬉しく存じます。私は、一昨年、甘粛省省長として西尾先生にお目にかかりました。ここに第4回中国省長代表団一行を代表致しまして、謹んで衷心より御礼申し上げたいと存じます。

さて、私どもの今回の訪日の目的は、全国知事会及び日本の各県との交流を深めると同時に、貴国の地方自治体の行政運営方法を学び、様々な分野の友人の方々と交流を行って、中日友好関係を一層深めることでもあります。

今日、皆様方の行き届いたご配慮により、私どもは鳥取県の農家を訪問し、農業園芸試験場、砂丘、グッドヒル紳士服製造工場を見学し、また市内を観光して、至る所で暖かく歓迎して

いただきました。そして貴県の先進的な農業・砂丘改造による成果・高能率でオートメーション化された工場において収められた業績や、大自然を生かしつつ生産に取り組まれている鳥取県民のすばらしい意欲に感銘致しました。特に、砂丘を見学した際は、鳥取大学の教授であられる遠山正瑛先生のことを思い出さずにはいられませんでした。先生は、長年蓄積された砂丘緑化研究のご経験を生かし、そのご高齢にもかかわらず、中国の西北地域へ赴かれ、我が国の技術者に砂漠の改造についてご指導をなされ、中国の砂漠化を防止するために多大の貢献をしてくださいました。中国人民は、遠山先生のことを永遠に忘れることはできません。また、鳥取県と河北省、米子市と保定市がそれぞれ友好提携されてからは、鳥取県と河北省との友好交流は絶え間なく発展し、ついに両国の合弁により工場が建設されたことは大変嬉しいことでした。中国の内蒙古と北京で、貴県のグッドヒルと私どもとの合弁紳士服工場が既に稼働しており、中国の消費者に新しいデザインのすばらしい衣服を供給しております。このような様々な分野における鳥取県と中国との交流の大きな発展は、鳥取県当局の多大のご支持と無縁ではありません。重ねて感謝申し上げますと同時に、鳥取県と我が国の更に多くの省との交流と協力を歓迎致したいと存じます。

目下のところ、中国は、改革開放経済政策を一段と推進して、経済システムを調整し、マクロ管理を強化しており、着実な経済発展をしております。中日両国の関係も非常に良好な時期にあり、昨年は江沢民総書記が訪日し、日本の天皇皇后両陛下も史上初めて訪中を実現され、両国の指導者の相互訪問によって中日友好関係は新たな段階に入りました。このように、喜ばしい状況のもとで代表団が貴国を訪問できましたことは、本当に嬉しく思います。貴県に滞在できる時間は短いものですが、皆様の行き届いたご配慮のおかげで、私どもの訪問は必ずや充実したものとなり、互いに理解し合い、友情を深めて帰国できるものと思えます。

最後になりましたが、西尾呂次知事のご健康とご在席の皆様のご健康を祝し、鳥取県のますますのご繁栄と、中日両国の末長い友情をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

(4) 佐藤栄佐久福島県知事 (11月13日)

表敬訪問における佐藤知事挨拶 (知事公館)

中国省長訪日代表団長賈志傑先生ならびに訪日代表団の皆様、ようこそ福島県においでくださいました。県民を代表し心から歓迎申し上げます。

このたび、皆様を日中知事交流事業の一環として本県にお迎えできましたことを誠に光栄

に存じます。

貴国、中国は世界の4大文明の発祥の地であり、日本は有史以来深く貴国の文明の影響を受けて発展してまいりました。

現代においても、社会経済制度の違いを越えて、お互いが学び合う意義が大きいものと考えます。

本県も国際化の時代を迎え、広く世界の各地域との交流を深めていこうとしております。

貴国、中国とは、今年4月から湖北省より本県に国際交流員を派遣していただいております。また、9月と10月に本県の職員や青少年訪問団が湖北省を訪問し交流を深めております。

賈省長様にはこの場を借りて深くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、本県は首都圏に近接し高速交通網の整備が進展していることから、東北地方の中でも最も工場立地の進んでいるなど、将来への発展が期待される地域であります。

また、現在、県内の5市町村が貴国の都市と友好提携を行っておりますが、今年3月に待望の福島空港が開港したことにより、今後貴国との間もより近くなり、交流も一層拡大していくものと期待しております。

皆様にとりまして本県は4か所目の訪問地であり、お疲れのことと存じますがどうかこの機会にごゆっくり県内をご覧いただくとともに、本県での滞在が皆様にとりまして良き思い出となりますことを願っております。

福島県知事主催招宴における佐藤知事挨拶（ホテル辰巳屋）

中国省長訪日代表団長賈志傑先生ならびに訪日代表団の皆様、ようこそ福島県においでくださいました。県民を代表し心から歓迎申し上げます。

このたび、中国の指導的立場にある皆様を、日中知事交流事業の訪日代表団として、本県にお迎えすることができ誠に光栄に存じます。

ご承知のとおり、日本と中国にとりまして、昨年は、国交正常化20周年という節目の年でありました。

私は、今後将来に向け両国の友好関係をさらに発展させていくためには、地方レベルの交流が極めて重要であると考えております。

こうした意味で、今回の皆様の訪日は、両国にとり大変意義深いものであると思っております。

本県では現在、5市町村が貴国の都市と友好提携を行っており、商工、農業団体、大学などでも、貴国との交流が活発に行われております。

また、県としましては、今年9月に湖北省に職員を派遣し、今後の交流についての話し合いなどを行ったところであります。

こうしたなか、このたび賈省長を訪日代表団長としてお迎えできましたことは、本県にとりまして二重の喜びであり、これも何かの縁ではないかと考えているところであります。

本日は、皆様のご来県を歓迎し、ささやかではありますがこのような宴を設けさせていただきました。どうか時間の許すかぎりごゆっくりとご歓談いただきたいと思います。

最後に、このたびの皆様のご訪問が、日中両国の友好と親善の架け橋となりますことを祈念し、ご挨拶といたします。

福島県知事主催招宴における賈志傑団長答礼挨拶（ホテル辰巳屋）

尊敬する佐藤栄佐久知事、菅野喬之議長並びにご在席の皆様

日本全国知事会のご招待にあずかり、第4回中国省長代表団は、11月8日より貴国を訪問させていただいております。これまでの6日間で、私どもは福岡・山口・鳥取の各県を訪問させていただきましたが、今日は光栄にも福島県にまいり、佐藤知事や日本の友人の皆様のお暖かいご歓迎を賜りました。その上今晚佐藤知事にはわざわざご招宴をいただきまして、ここに謹んで代表団員を代表し、衷心より感謝申し上げます。

さて、中日両国は、一衣帯水の隣国で長い友好の歴史を持ち、文化の伝統が類似しており、さらに経済や技術面でも互いに補完性を持っているので、友好交流を行うための天の時・地の利・人の和という有利な条件がそろっていることとなります。そして中日善隣友好関係は、中日両国人民の利益となるのみならず、アジア・太平洋地域及び世界の平和の発展にも寄与するものであります。中日国交正常化以降、両国の地方自治体を含む様々な分野において広範な交流と協力が繰り広げられており、両国間で140組の省・県・都市が友好提携しております。しかしもちろん、中日両国の友好交流にはまだ大きな潜在力があり、私どもは、日本の友人の皆様とともに、この友好関係を新たな段階に推し進めるため努力していきたいと思っております。

福島県は、長い歴史と広い土地を有して、自然と資源に恵まれており、また交通が便利で産業が発達しているのみならず、野菜と果物の生産高では日本一だと伺っています。この度このような貴県を訪問させていただくことができ、大変嬉しく思います。特に、私個人が福島に親近感を覚えるのは、私の住む湖北省と福島県とがずっと友好交流関係を保っているためです。我が省の沙門市と貴県の会津若松市とは、既に一昨年友好都市となり、スムーズに友好協力が進み、かなりの成果をあげております。この度の訪問によって、必ずや双方の理

解と友情が深まることを私は信じて疑いません。私どもは、貴県及び貴県の都市との相互理解を土台として、様々な交流を繰り広げ、友好関係を一層発展させたいと願っています。佐藤栄佐久知事並びに日本の友人の皆様、湖北省と代表団員の住む他の省や自治区へのご来訪を心から歓迎いたします。佐藤知事と友人の皆様の心暖まる歓迎とおもてなしに対し、重ねて御礼申し上げます。

終わりに、佐藤知事、菅野議長並びに友人の皆様のご健康と福島県のますますのご繁栄と、そして中日両国人民の末長い友情をお祈り申し上げて、乾杯をいたしたいと思います。どうもありがとうございました。

(5) 鈴木俊—東京都知事 (11月16日)

鈴木東京都知事との会見要旨

11月16日(火) 11:01~11:25 第1庁舎7階

「知事特別応接室」

主な同席者：中村實宏外務長、

大江尚樹広域連絡担当部長

砂子田隆全国知事会事務総長

(通訳：神崎多實子、汪以文)

鈴木知事 日本へ来られるのは今回で何回目か。

団長 私は3回目だ。1回目は1980年で私は工場長をしていた。2度目は1987年、甘粛省の省長をしていた時で、秋田県との友好省県の関係で訪日した。このたびは全国知事会のお招きで省長代表団として参った。

鈴木知事 あなたは佐々木秋田県知事をよくご存知なのですね。

団長 その通りだ。今度も佐々木知事がわざわざ会いに来て下さると伺っている。1986年ごろからのおつきあいで、親しくさせて頂いている。87年には甘粛省代表として訪日したが、その時は全国知事会へは参っていない。

鈴木知事 その際は私もお目にかかれなかった。私は湖北省へはまだ行っていない。甘粛省も行っていない。今まで行ったのは、陝西省の西安、杭州、瀋江の流れに臨む桂林。あとは広東省の深圳にも行った。東京都は1979年に北京市と友好都市になった。来年15周年を迎える。私は北京へは5回行った。北京市では林乎加、陳希同といった歴代の市長さんと親しくさせて頂いた。現在の市長にはまだお会いしていない。

団長 私たちは鈴木都知事のお名前は以前から存じ上げている。このたびは知事にお会いできて大変光栄だ。心から嬉しく思っている。我々のメンバーは、東京を訪れるたびに大きな変化を遂げているのを感じる。このような発展は、鈴木都知事のご努力と東京都民の協

力によって得られたものだと思う。

さきほど情報連絡室長さんから東京都政についてのご説明をお聞きし、深い感銘を受けた。都知事以下のご努力により、21世紀に向けて更に東京を発展させようという計画、プランが実現すれば、東京はさらに大きな変化を遂げるだろう。

このたびの代表団の訪日の目的は、中国と日本との友好と相互理解を深めることであるが同時に我々は東京の経験を大いに学びたいと思っている。それを通じて世界の平和に貢献したい。良いチャンスをつかんで大きな発展を遂げたい。

このたび中共中央は、第14期第3中全会において、開放の歩みを早め、中国の特色ある社会主義市場メカニズムを推し進める重要な決定を行った。今世紀末までに市場経済が喚起され、基礎が完成するだろう。早いテンポで発展を遂げるだろう。われわれは、第二の目標も2年位早めて達成できるとしている。今世紀末までに、衣食の満ち足りた生活のレベルを達成できるだろう。さらに重要なのは、この時期の発展を、その次の発展のための基礎作りとすることである。つまり次の世紀の30年代、50年代に発展するための基礎作りをしようとしている。我々中国人民は、これからの自らの発展のために、隣国とくに日本との協力、アジア太平洋地域そして全世界と協力したいと思っている。

このたびの鈴木知事の暖かいお招きに改めてお礼申し上げます。東京都が今後さらに繁栄することを祈る。

(ここで贈物の交換が行われ、知事から東京都のメダル及び東京都の写真集、賈団長から1億年前の生物の化石の置物が贈呈された。)

団長 再来年日本の知事団をお招きしたい。帰国したらすぐインビテーションを出す。今回のメンバーである六つの省の省長も是非皆様にお出で頂きたいと思っている。

6 資 料

(1) 第四次中国省長訪日代表団略歴

団 長 湖北省省長

賈 志 傑 (JIA ZHI JIE) 男、漢族、1935年12月3日生れ、吉林省出身。
1960年モスクワ石油学院卒業、蘭州石油化学工業機械工場技師、同工場
長を歴任。1986年甘肅省省長就任。1993年湖北省省長就任。

副団長 広西チワン族自治区主席

成 克 傑 (CHENG KE JIE) 男、チワン族、1933年11月13日生れ、広西チワン族自
治区出身。柳州鉄道局南寧分局総技師、柳州鉄道局局长、広西チワン族
自治区副主席を歴任。1987年広西チワン族自治区主席就任。中国共産党
中央委員。

団 員 福建省副省長

王 良 溥 (WANG LIANG TUAN) 男、漢族、1937年6月23日生れ、福建省出身。
1958年南京大学卒業。現在福建省副省長。

団 員 山西省副省長

劉 沢 民 (LIU ZE MIN) 男、漢族、1944年7月20日生れ、山西省出身。
県長、行政公署専門職員を歴任。現在山西省副省長。中国共産党中央委
員候補。

団 員 山東省副省長

陳 建 國 (CHEN JIAN GUO) 男、漢族、1945年7月14日生れ、山東省出身。
烟台地区経済委員会副主任を経て烟台市副市长、市委委員会書記を歴任。
1993年山東省副省長就任。

団 員 安徽省副省長

楊 多 良 (YANG DUO LIANG) 男、回族、1946年8月3日生れ、安徽省出身。
安徽省外事弁公室副主任、主任を歴任。1993年安徽省副省長就任。

秘書長 中日友好協会秘書長代行

陸 琪 (LU QI) 男、漢族、1938年3月12日生れ、上海市出身。
1961年北京大学卒業、外交部日本処処長、中国駐日本大使館参事官、
駐大阪総領事館総領事を歴任。現在中日友好協会秘書長代行。

随員 中日友好協会理事、都市交流部部長

王 秀 雲 (女) (WANG XIU YUN) 女、漢族、1956年2月5日生れ、河北省出身。
1978年北京外国語学院卒業。同年中日友好協会の勤務につき現在に至る。
中日友好協会政治交流部部長を経て、1993年都市交流部部長に就任、中日友好協会理事。

随員 中国国際友好都市連合会弁公室主任

畢 惠 風 (BI HUI FENG) 男、漢族、1940年12月29日生れ、江蘇省出身。
1965年南京大学卒業、同年外交部に勤務すると共に外交学院にて学ぶ。
1971年中国人民対外友好協会の任務につき、現在中国国際友好都市連合会弁公室主任。

随員 中日友好協会職員

鄧 曉 峰 (DENG XIAO FENG) 男、漢族、1964年1月4日生れ、遼寧省出身。
1986年大連外国語学院卒業。同年中日友好協会の任務につき現在に至る。

省名(省都) 日中友好県省	位置	面積・人口	地勢・気候	沿革	民族構成	行政区分	農林水産業	鉱工業	交通	教育・文化
湖北省 (省都:武漢 人口 350万) (中国第5位の都市)	華南地区 北部の省。 長江中流域 洞庭湖以北	面積 18万5,900km ² (第15位) (本州の82%) 人口 5,512万人 (第9位)	長江が三峡から平野 に出る付近にあたり、 西部は山地、中南部 は平野、北東・南東 部は低い丘陵。 <u>平均気温(武漢)</u> 1月 4.8℃ 7月 28.4℃ <u>年降水量(武漢)</u> 1,815.9mm	数十万年前より 人類が生息。 1938年10月 武漢が日本軍 に占領された。	漢族(96%)、 苗族 20万 回族 8万 満族 1.2万 蒙古族0.6万 土家族0.6万	市 31 (省轄市 8) 県級市 23 県 47	水稻、綿花、茶 小麦、ナタネ、 トウモロコシ タバコ 生糸 木材、桐油、 ウルシ 淡水養殖魚	〔鉱業〕 石炭、銅、燐、 石膏、大理石 〔工業〕 鉄鋼(年産683万ト ン、全国第3位)、 自動車、機械、 化学、電力、 紡績、製粉、 搾油、タバコ	京広鉄道と長江水 運の合流地点にあ り、交通のカナメ をなす。 鉄道営業距離は 1,690キロ。自動車 道路は12,349キロ。 武漢港は中国最大 の河川航運中継港。 空路は武漢から国 内22都市に通ず る。	総合大学2(武 漢大学ほか)は じめ高等教育機 関58。 漢劇は300年 以上の歴史があ る。 武漢雑技団は 有名。
広西チワン族 自治区 (区都:南寧 人口 109万) 友好県省: 熊本県(1982年)	華南地区 西部の 自治区。	面積 23万6,600km ² (第9位) (本州の1.04倍) 人口 4,324万人 (第10位)	北西部は高原で、北 西から南東に向かっ て低くなる。中部は 盆地となり、南はト ンキン湾に臨む。 <u>平均気温(南寧)</u> 1月 12.8℃ 7月 28.4℃ <u>年降水量(南寧)</u> 1,196.1mm	中国近代史上 最大規模の農 民蜂起たる 「太平天国の 乱」(1850~64) の根拠地。	非漢族が39% を占める。 チワン(壮)族 1,415万 ヤオ族133万 苗族43万 トン族29万 ムーラオ族 16万	市 12 (省轄市5) 県級市7 県 76	米、トウモロコ シ、サトウキビ、 黄麻、バナナ、 ザボン マツ、スギ、 桐油、松やに、 樟脳 海産物も豊富(真 珠が有名)	〔鉱業〕 マンガン及び錫の 埋蔵量は中国第一 位。鉛、亜鉛、 銀、水銀、アルミ ニウムも豊富。 〔工業〕 製糖(全国第2位) 鉄鋼、冶金、 電力、食品、 建材、機械	鉄道は柳州を中心 として3本の幹線 が走る。鉄道営業 距離は1,666キロ。 水運、道路交通も 発達。(自動車道 路は9,065キロ。) 空路は南寧、桂林 から国内各地に通 ずる。	総合大学1(広 西大学)をはじ め、高等教育機 関は23。
福建省 (省都:福州 人口 131万) 友好県省: 長崎県(1982年)	華南地区 東部の省。 台湾海峡を へだてて台 湾省と向か い合う。	面積 12万1,300km ² (第23位) (本州の53%) 人口 3,079万人 (第18位)	山地・丘陵が全面積 の90%を占め、そ の間に小さな盆地や 狭長な沿岸平野があ る。 <u>平均気温(福州)</u> 1月 11.2℃ 7月 30.2℃ <u>年降水量(福州)</u> 1,173.0mm	華僑の主要な 出身地をなし、 この地方から 台湾、東南ア ジア各地へ移 住した華僑は おびただしい 数にのぼる。	漢族が98%。 ショ一族35万 回族9万 満族0.5万 その他	市 18 (省轄市6、 県級市12) 県 52	水田二期作、ト ウモロコシ栽培。 商品作物では茶、 タバコ、 サツマイモ、麻、 バナナ。 スギを産出。 漁業も盛ん。	〔鉱業〕 鉄、石炭、明礬 〔工業〕 鉄鋼、電子。 製紙、製糖、製茶、 製材などの農産加 工業も盛ん。 近代工業は福州を 中心とする。	鉄道は9本、営業 距離は1,015キロ に及ぶ。自動車道 路は6,687キロ。 港は38ある。 空路は福州と厦門 (アモイ)から国内 各地のほか、シン ガポール、豪州、 香港、マニラへ飛 ぶ。	華僑の故郷。厦 門大学は全国重 点大学の一つ。 同大学には人類 博物館、魯迅博 物館、台湾研究 所がある。 高等教育機関は 36(うち総合大 学1)。

省名(省都) 日中友好県省	位置	面積・人口	地勢・気候	沿革	民族構成	行政区分	農林水産業	鉱工業	交通	教育・文化
山西省 (省都：太原 人口 198 万) 友好県省： 埼玉県(1982 年)	華中地区 北西部の 省。	面積 15 万 6,300km ² (第 19 位) (本州の 69%) 人口 2,942 万人 (第 19 位)	太行山脈と黄土高原 からなる。 平均気温(太原) 1 月 -3.9℃ 7 月 24.4℃ 年降水量(太原) 441.9mm	古来、仏教の 聖地として知 られ、平安時 代に日本から ここにきて仏 教を学ぶ僧も あった。	漢族 99.7% 回族 6 万 満族 1.3 万 その他	市 15 (省轄市 8) 県級市 9 県 91	北部ではアワ、 春小麦、コー リヤン、ジャガ イモが、南部で は冬小麦、アワ、 綿花などの 2 毛 作、または 2 年 3 作が行われる。	〔鉱業〕 石炭(年産 2 億 9、 498 万トン〔全 国第一位〕)、ボー キサイト、食塩、 石膏、硫黄 〔工業〕 鉄鋼、機械、セメ ント、化学、製粉、 紡績、製紙	鉄道営業距離は 2,332 キロ。 空路は太原から 13 本あり、中国 各地とつながる。 太原、大同を中心 に自動車道路が発 達(延長 9,841 キロ)。	山西省は春秋以 来の歴史の宝庫。 多くの堂塔・ 伽藍がある。 高等教育機関は 26(うち総合 大学 1)。
山東省 (省都：済南 人口 235 万) 友好県省： 山口県(1982 年) 和歌山県 (1984 年)	華北地区 東部の省。 北は渤海、 東は黄海、 南は華東地 区に接する。	面積 15 万 3,300km ² (第 20 位) (本州の 67%) 人口 8,570 万 (第 3 位)	山東山地、黄河下流 域、大運河沿岸地域、 沿海地帯からなる。 平均気温(済南) 1 月 0.8℃ 7 月 28.4℃ 年降水量(済南) 792.2mm	孔子、孟子の 生地。青島は 日清戦争後、 ドイツが三国 干渉によって 租借したとこ ろで第 1 次大 戦後中国に還 付された。	住民の 99.4% は漢族だが、 回族(46 万)、 満族(2 万)な どの少数民族 がいる。	市 40 (省轄市 12) 県級市 28 県 70	小麦、 トウモロコシ、 アワ、綿花、 落花生、タバコ 養蚕、塩 (農業生産額は 全国第 1 位)	〔鉱業〕 石油(年産 3,346 万トン〔全国第 2 位〕)、石炭(年産 6,375 万トン〔全 国第 4 位〕)、鉄、金、 鉛、ダイヤモンド 〔工業〕 電力(発電量全国 第 1 位)、セメン ト(年産全国第 2 位)、綿布(年産全 国第 2 位)。	鉄道は南北に走る 京滬線と東西にの びる膠濟・藍烟両 線が基幹をなす。 鉄道営業距離は 2,042 キロ。 自動車道路は 25,597 キロ。空路 は済南、煙台、青 島から国内各地に 通ずる。	孔子、孟子など を輩出。 省内に 49 の高 等教育機関があ る(うち総合大 学は 3)。
安徽省 (省都：合肥 人口 102 万)	華東地区 西部の省。 長江下流両 岸にまたが る。	面積 13 万 9,700km ² (第 22 位) (本州の 61%) 人口 5,761 万人 (第 8 位)	省の中央に大別山脈 があり、北の淮河流 域と南の長江流域に 分かれる。 平均気温(合肥) 1 月 3.5℃ 7 月 28.2℃ 年降水量(合肥) 1,470.3mm	省名は、1667 年江南省が江 蘇・安徽の 2 省に分割され たおり、江北 の安慶府と江 南の徽州府の 字をとった。	住民の 99.4% が漢族。 回族 30 万 満族 0.5 万 その他	市 18 (省轄市 10) 県級市 8 県 60	米、麦、 トウモロコシ、 アワ、 コーリヤン。 商品作物として は、綿花、タバ コ、茶(緑茶、 紅茶)	〔鉱業〕 石炭、鉄、銅、 硫黄 〔工業〕 冶金、機械、 電気、化学 〔特産物〕 紙、墨、硯	9,893 キロの自動 車道路があり、 鉄道営業距離は 1,545 キロ。空路 は合肥から国内 7 都市に通ずる。	高等教育機関は 37(うち総合 大学 1)。 合肥の科学技術 大学は有名。 撮影所 1 がある。

(注) 1 省都の人口、省の面積・人口は「中国百科年鑑 1992 年版」(中国百科年鑑編集部)による。

2 平均気温、年降水量、鉄道営業キロ数、自動車道路キロ数、高等教育機関数は「中国統計年鑑 1992 年版」(国家統計局編)による。

3 民族構成は「中国人口統計年鑑 1990 年版」(国家統計局編)による。

4 行政区分、農業・工業生産額、鉄鋼、石炭、石油等の生産高、順位は「中国統計摘要 1993 年版」(国家統計局編)による。

(3) 中国省レベル行政区画地図

写真あり

(4) 中国日本友好協会

1993年9月現在

China-Japan Friendship Association

1 所在地 中華人民共和国 北京市台基廠大街1号

TEL 3512-1436 (FAX 兼用)

3512-2476

2 設立 1963年(昭和38年)10月4日

3 目的 中国と日本との友好親善の促進

4 主要役職員

会 長 孫平化(1986年5月より)

副 会 長 王效賢、林 林、宗之光、黄世明、肖向前

秘書長代 行 陸 琪

副 秘 書 長 吳瑞鈞、陳永昌

政治交流部 長 王雲濤

都市交流部 長 王秀雲

友好交流部 長 許金平

5 沿革

中国日本友好協会(略称・中日友好協会)は、1963年(昭和38年)10月4日、北京で結成された。

結成にあたっては、中国人民対外友好協会をはじめ、中華全国青年連合会、中華全国婦女連合会や中国文学芸術界連合会など各分野の19団体が参加、名誉会長に郭沫若氏、会長に廖承志氏、以下各界代表が役員に就任した。

以来、同協会は、日中間・各分野の民間交流の総合的な窓口として活動し、日中国交正常化に大きな貢献をした。

国交正常化後も、引き続き両国間の友好都市提携の促進、日中経済交流の斡旋をはじめ、日中新時代にふさわしく広範な分野で日本の各界との諸交流を推進している。

(5) 都道府県と中国省・自治区・中央直轄市との友好提携状況

(1993年11月)

都道府県名	中国省・区・市名	提携年月日
1 東京都	北京市	1979・3・14
2 愛知県	江蘇省	1980・7・28
3 大阪府	上海市	1980・11・21
4 静岡県	浙江省	1982・4・20
5 熊本県	広西チワン族自治区	1982・5・20
6 秋田県	甘肅省	1982・8・5
7 山口県	山東省	1982・8・12
8 長崎県	福建省	1982・10・16
9 埼玉県	山西省	1982・10・27
10 兵庫県	広東省	1983・3・23
11 滋賀県	湖南省	1983・3・25
12 神奈川県	遼寧省	1983・5・12
13 京都府	陝西省	1983・7・16
14 新潟県	黒竜江省	1983・8・5
15 長野県	河北省	1983・11・11
16 和歌山県	山東省	1984・4・18
17 富山県	遼寧省	1984・5・9
18 広島県	四川省	1984・9・17
19 山梨県	四川省	1985・6・18
20 鳥取県	河北省	1986・6・9
21 北海道	黒竜江省	1986・6・13
22 三重県	河南省	1986・11・19
23 宮城県	吉林省	1987・6・1
24 岐阜県	江西省	1988・6・21
25 兵庫県	海南省	1990・9・28
26 岡山県	江西省	1992・6・1
27 福岡県	江蘇省	1992・11・4
28 山形県	黒竜江省	1993・8・13
29 島根県	寧夏回族自治区	1993・10・6
30 福井県	浙江省	1993・10・6
31 栃木県	浙江省	1993・10・13

(6) 全国知事会事務局地方視察の同行者

全国知事会事務局総長	砂子田 隆	福岡県 (11月8日・9日) 山口県 (11月9日・10日) 鳥取県 (11月12日・13日) 福島県 (11月13日・14日)
〃 渉外部長	柳田 躬嗣	福岡県、山口県、鳥取県、福島県 (11月8日～15日)
〃 渉外部副部長	岩本 広幸	福岡県、山口県、鳥取県 (11月8日～13日)
〃 渉外部主事	富田 順子	福島県 (11月13日～15日)
添乗員 近畿日本ツーリスト(株) ツアーディレクター	中川 浩一	福岡県、山口県、鳥取県、福島県 (11月8日～15日)